## (19) 世界知的所有権機関 国際事務局



# 

## (43) 国際公開日 2002 年7 月11 日 (11.07.2002)

#### PCT

## (10) 国際公開番号 WO 02/053565 A1

(51) 国際特許分類<sup>7</sup>: C07D 471/04, 487/04, 487/14, 491/147, 495/14, A61K 31/437, 31/519, A61P 1/00, 1/04, 1/08, 1/14, 3/04, 3/08, 5/14, 9/00, 9/02, 9/06, 9/10, 9/12, 11/06, 17/06, 19/02, 19/10, 25/00, 25/06, 25/08, 25/14, 25/16, 25/20, 25/22, 25/24, 25/28, 25/30, 27/02, 29/00, 37/08, 43/00 // (C07D 487/14, 207:00, 231:00, 239:00) (C07D 491/147, 231:00, 239:00, 307:00) (C07D 495/14, 231:00, 239:00, 333:00)

(21) 国際出願番号: PCT/JP01/11581

(22) 国際出願日: 2001年12月27日(27.12.2001)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ: 特願 2000-402517

2000年12月28日(28.12.2000) 月

- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 小野薬品工業株式会社 (ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒541-8526 大阪府 大阪市中央区道修町2丁目1番5号 Osaka (JP).
- (72) 発明者;および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 中井 久郎 (NAKAI,Hisao) [JP/JP]: 〒618-8585 大阪府 三島郡 島 本町桜井 3 丁目 1番 1号 小野薬品工業株式会社 水

無瀬総合研究所内 Osaka (JP). 鏡石 佳史 (KAGAMI-ISHI, Yoshifumi) [JP/JP]; 〒618-8585 大阪府 三島郡 島本町桜井 3 丁目 1 番 1 号 小野薬品工業株式会社 水無瀬総合研究所内 Osaka (JP).

- (74) 代理人: 大家 邦久 (OHIE, Kunihisa); 〒103-0013 東京都 中央区 日本橋人形町2丁目2番6号 堀口第2ビル7階 大家特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (国内): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, ES, FI, GB, GD, GF, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NO, NZ, OM, PH, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW.
- (84) 指定国 (広域): ARIPO 特許 (GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE, TR), OAPI 特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GO, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

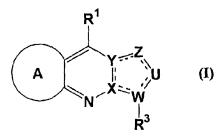
#### 添付公開書類:

#### — 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: TRICYCLIC AND HETEROCYCLIC DERIVATIVE COMPOUNDS AND DRUGS CONTAINING THESE COMPOUNDS AS THE ACTIVE INGREDIENT

(54) 発明の名称: 三環式複素環誘導体化合物およびその化合物を有効成分とする医薬



Alzheimer's disease, alcoholic or drug withdrawal, etc.

(57) Abstract: Tricyclic and heterocyclic derivatives represented by the following general formula (I) and pharmaceutically acceptable salts thereof; a process for producing the same; and drugs containing the same as the active ingredient: (I) wherein W, X and Y represent each carbon or nitrogen; U and Z represent each CR<sup>2</sup>, NR<sup>13</sup>, nitrogen, oxygen, sulfur, etc.; the ring A represents a carbon ring or a heterocycle; R<sup>1</sup> represents alkyl, alkenyl, alkynyl, NR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>, OR<sup>6</sup>, etc.; and R<sup>3</sup> represents a carbon ring or a heterocycle. Because of having a corticotropin release factor receptor antagonism, the compounds represented by the general formula (I) are useful in preventing and/or treating depression, anxiety, eating disorder, post-traumatic stress, digestive ulcer, irritable bowel syndrome,

## (57) 要約:

一般式(I)で示される三環式複素環誘導体、およびその薬学的に許容される塩、それらの製造方法、それらを有効成分として含有する薬剤[式中、W、X、Yは炭素または窒素原子;U、Zは $CR^2$ 、 $NR^{13}$ 、窒素、酸素、硫黄原子等;A環は炭素環、複素環; $R^1$ はアルキル、アルケニル、アルキニル、 $NR^4R^5$ 、 $OR^6$ 等; $R^3$ は炭素環、複素環を表わす。]。

$$\begin{array}{c|c}
R^1 \\
X & V \\
N & X & W \\
R^3
\end{array}$$
(I)

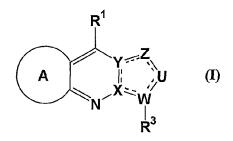
一般式(I)で示される化合物はコルチコトロピン放出因子受容体拮抗作用を有するため、うつ病、不安障害、摂食異常、心的外傷後ストレス、消化性潰瘍、過敏性大腸症候群、アルツハイマー病、薬物またはアルコールの禁断症状等等の予防及び/または治療に有用である。

### 明 細 書

三環式複素環誘導体化合物およびその化合物を有効成分とする医薬

#### 5 技術分野

本発明は、医薬として有用な一般式(I)



(式中、すべての記号は後記と同じ意味を表わす。)で示される三環式複素 環誘導体化合物、およびその化合物を有効成分とする医薬に関する。

10

#### 背景技術

コルチコトロピン放出因子 (Corticotropin Releasing Factor: CRF) は、1981年にヒツジ視床下部から単離された41個のアミノ酸ペプチドである。この CRFは視床下部から放出され、脳下垂体からの副腎皮質ホルモン (ACT H) の分泌調節を担っていることが示唆された [Science, 218, 377-379(1982)]。 生物学的効果は、まず放出されたCRFが下垂体前葉のACTH産生細胞などの膜表面に存在するCRFレセプターへの結合から始まる。CRFレセプターには2つのサブタイプのレセプターが存在し、それぞれ脳内の異なった領域に分布していることが明らかになっている。例えば、レセプター1は 下垂体、視床下部、大脳皮質等に存在し、レセプター2は主脳の中隔、視床下部室傍核等に存在する。またレセプターは末梢臓器、例えば、心臓、胃腸、肺、副腎髄質、脾臓、肝臓、腎臓、前立腺等にも存在する。具体的には、腸

または脾臓にはレセプター1、胃にはレセプター2が多く存在し、心臓、骨格筋にはレセプター2のうちでも $2\beta$ が多く存在する。

CRFの刺激によって分泌されたACTHは、副腎皮質からのコルチゾールの分泌を刺激しており、生殖、成長、胃腸機能、炎症、免疫系、神経系等に対する全身的な作用に関連する。よって、CRFはこれらの機能の調節因子として働くと考えられている。

実際、CRFがうつ病、不安障害の患者において脳で過剰分泌されている との報告がある [Science, 226, 1342-1343 (1984); Neuroscience and Behavioral Reviews, 22, 635-651 (1998); J. Endocrinol., 160, 1-12 (1999)]。

- 10 また、これら以外にも、CRFと種々の疾患の関係が報告されている。例 えば、摂食異常 [Science, 273, 1561-1564 (1996)]、炎症 [Endocrinology, 137, 5747-5750 (1996)]、過敏性腸症候群 [Am. J. Physiol, 253, G582-G586 (1987)]、 薬物依存 [Psychopharmacology 137, 184-190 (1998)]、または虚血 [Soc Neurosci Abstr (Nov 4-9, New Orleans), 807.5 (2000)] 等がある。
- 15 一方、CRFはストレスにも深く関わっている。例えば、CRFを脳内に 投与するとストレス環境にさらされた動物と同様の行動、内分泌応答等が見 られる [Nature, 297, 331 (1982)]。

これらのことよりCRFの中枢神経系や精神神経系疾患、また末梢臓器の疾患への関与が注目されている。

20 従って、CRF受容体に拮抗することは、CRFの分泌異常による疾患、例えばストレス関連疾患を含む多様な障害または疾病に有効である。例えば、うつ病、単一エピソードうつ病、再発性うつ病、分娩後うつ病、小児虐待誘発性うつ病、不安症、不安障害(パニック障害、特定の恐怖症、高所恐怖症、社会恐怖、強迫性障害)、感情障害、双極性障害、心的外傷後ストレス(PTSD)、消化性潰瘍、下痢、便秘、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病)、ストレスに伴う胃腸機能障害、神経性嘔吐、摂食

異常(神経性食欲不振、過食症)、肥満症、ストレス誘発性睡眠障害、繊維筋痛性睡眠障害、ストレス誘導性免疫抑制、ストレス誘発性頭痛、ストレス誘発性疼痛、手術襲撃ストレス、慢性関節リウマチ、変形性骨関節症、骨粗鬆症、乾癬、甲状腺機能障害症候群、ブドウ膜炎、喘息、不適切な抗下痢ホルモンに基づく症状、疼痛、炎症、アレルギー性疾患、頭部損傷、脊髄損傷、虚血性ニューロン損傷、分泌毒性ニューロン損傷、クッシング病、発作、痙攣、筋痙攣、てんかん虚血性疾患、パーキンソン病、ハンティングトン病、尿失禁、アルツハイマー病、アルツハイマー型老人性痴呆、多梗塞性痴呆症、筋萎縮性側索硬化症、低血糖症、心血管または心臓関10 連疾患(高血圧、頻脈、うっ血性心不全)、薬物またはアルコールの禁断症状等の疾患等の予防および/または治療に有効であると考えられる。

一方、CRFに対し拮抗作用を有する化合物として、例えば以下のものが 知られている。

## (1) WO97/29109 号明細書には、一般式(A)

$$R^{3A}$$
 $N$ 
 $N$ 
 $N$ 
 $R^{2A}$ 
 $N$ 
 $R^{2A}$ 
 $N$ 

15

(式中、R<sup>1A</sup>はNR<sup>4A</sup>R<sup>5A</sup>、またはOR<sup>5A</sup>であり、

R<sup>2</sup>Aはアルキル、アルキルオキシ、アルキルチオであり、

R<sup>3A</sup>はH、アルキル、アルキルスルホニル、アルキルスルホキシ、アルキルチオであり、

20 R<sup>4A</sup>はH、アルキル、モノーもしくはジ(シクロアルキル)メチル、シクロ アルキル、アルケニル、ヒドロキシアルキル、アルキルカルボニルオキシア ルキル、またはアルキルオキシアルキルであり、

R<sup>5A</sup>はアルキル、モノーもしくはジ(シクロアルキル)メチル、Ar<sup>1A</sup>-C

 $H_2$ 、アルケニル、アルキルオキシアルキル、ヒドロキシアルキル、チエニルメチル、フラニルメチル、アルキルチオアルキル、モルホリニル等であり、あるいは $R^{4A}$ および $R^{5A}$ はそれらが結合している窒素原子と一緒になって、アルキル、アルキルオキシアルキルで置換されていることができるピロリジニル、ピペリジニル、ホモピペリジニル、モルホリニル基を形成することができ、

Ar Aはフェニル、ハロ、アルキル、トリフルオロメチル、ヒドロキシ等から 選ばれる1,2もしくは3個の置換基で置換されたフェニル、ピリジニル、 ハロ、アルキル、トリフルオロメチル、ヒドロキシ等から選ばれる1,2も しくは3個の置換基で置換されたフェニルピリジニルである。)で示される 化合物がCRF受容体拮抗薬として開示されている。

## (2) WO98/03510 号明細書には、一般式(B)

$$R^{1B}$$
 $N$ 
 $N$ 
 $Z^{B}$ 
 $A^{B}$ 
 $A^{B}$ 
 $A^{B}$ 
 $A^{B}$ 

(式中、ABはNまたはCRBであり、

15  $Z^{B}$  dN  $\pm c$   $dCR^{2B}$  C  $\delta$   $\delta$   $\delta$ 

5

20

 $Ar^B$ はフェニル、ナフチル、ピリジル、ピリミジニル、トリアジニル、フラニル、チエニル、ベンゾチエニル、ベンブフラニル等を表わし、それぞれ1 ~ 5 個の $R^{4B}$ で置換されていてもよく、

R<sup>B</sup>はH、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキル、ハロゲン原子、シアノ、ハロアルキルを表わし、

R<sup>1B</sup>はH、アルキル、アルケニル、アルキニル、ハロゲン原子、シアノ、ハロアルキル、ヒドロキシアルキル等を表わし、

R<sup>2B</sup>はH、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロア

ルキルアルキル、ヒドロキシアルキル等を表わし、

 $R^{3B}$  th,  $OR^{7B}$ , SH, S(O)  $nR^{13B}$ ,  $COR^{7B}$ ,  $CO_2R^{7B}$ , OC(O)  $R^{13B}$ ,  $NR^{8B}COR^{7B}$ ,  $N(COR^{7B})_2$ ,  $NR^{8B}CONR^{6B}R^{7B}$ ,  $NR^{8B}CO_2R^{13B}$ ,  $NR^{6B}R^{7B}$ , PN+N, PN+N,

5 クロアルキル、シクロアルキルアルキル等を表わし、

 $R^{4B}$ はアルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルキル、NO<sub>2</sub>、ハロゲン原子、シアノ、ハロアルキル、NR<sup>6B</sup>R<sup>7B</sup>、NR<sup>8B</sup>COR<sup>7B</sup>等を表わす。)

で示される化合物がCRF受容体拮抗薬として開示されている。

10 (3) WO98/08847 号明細書には、一般式 (C)

$$\begin{array}{c|c}
 & B^{C} \\
 & & C \\
 &$$

(式中、点線は任意の二重結合を表わし、

A<sup>c</sup>は窒素またはCR<sup>7C</sup>を表わし、

 $B^{c}$ はNR<sup>1c</sup>R<sup>2c</sup>、CR<sup>1c</sup>R<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>、C (=CR<sup>2c</sup>R<sup>11c</sup>) R<sup>1c</sup>、NHC 15 R<sup>1c</sup>R<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>、OCR<sup>1c</sup>R<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>、SCR<sup>1c</sup>R<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>、CR<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup> NHR<sup>1c</sup>、CR<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>OR<sup>1c</sup>、CR<sup>2c</sup>R<sup>1oc</sup>SR<sup>1c</sup>またはCOR<sup>2c</sup>を表わし、

 $J^c$ および $K^c$ はそれぞれ独立して、窒素または炭素であり、両方ともが窒素であることはなく、

20  $D^c$ および $E^c$ はそれぞれ独立して、窒素、 $CR^{4c}$ 、C=O、C=S、硫黄、酸素、 $CR^{4c}R^{6c}$ および $NR^{8c}$ から選択され、 $G^c$ は窒素または炭素であり、

 $D^c$ 、 $E^c$ 、 $G^c$ 、 $K^c$ 、および $J^c$ を含む環は飽和または不飽和の5 員環であってよく、所望により1または2個の二重結合を含んでいてもよく、所望により1または2個のC=OまたはC=Sを含んでいてもよく、

 $R^{1C}$ はヒドロキシ、フルオロ、クロロ、ブロモ、ヨード、Oーアルキル、C  $F_3$ 、C (=O) Oーアルキル、O C (=O) アルキル等から選択される1または2個の置換基で所望により置換されたアルキルであり、

 $R^{2c}$ は所望により $1\sim3$ 個の二重結合または三重結合を含んでいてもよいアルキル、アリール、アリールアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルア

10 ルキル等であり、

 $R^{3c}$ はH、アルキル、Oーアルキル、クロロ、フルオロ、ブロモ、ヨード、アルキレン-Oーアルキル、アルキレン-OH、またはSーアルキルであり、 $R^{4c}$ はH、アルキル、フルオロ、クロロ、ブロモ、ヨード、ヒドロキシ、シアノ、アミノ、アルキレン-OH、CF。等であり、

- 15  $R^{5c}$ はフェニル、ピリジル、ピラジニル、ピリミジル、ピリダジニルであり、 それぞれ $1\sim4$ 個の置換基 $R^{13c}$ で置換されており、それらの置換基の内 $1\sim$ 3個はフルオロ、クロロ、アルキルおよびOーアルキルから選択することができ、それらの置換基の内1個はブロモ、ヨード、ホルミル、OH、アルキレンOH、アルキレンOH、アルキレンOH、アルキレンOH、アルキレン
- 20 アルキルアミノ、ジアルキルアミノ等である。) で示される化合物がCRF受容体拮抗薬として開示されている。

## 発明の開示

本発明は、三環式複素環誘導体に関する。

25 詳しくは、本発明は、(1)一般式(I)

$$\begin{array}{c|c}
R^1 \\
Y & Z \\
X & W \\
R^3
\end{array}$$
(I)

(式中、

XおよびYはそれぞれ独立して、炭素原子または窒素原子を表わし(ただし、 二つは同時に窒素原子を表わさない。)、

5 Wは炭素原子または窒素原子を表わし、

UおよびZはそれぞれ独立して、 $CR^2$ 、 $NR^{13}$ 、窒素原子、酸素原子、硫黄原子、C=OまたはC=Sを表わし、

R2は

- (i)水素原子、
- 10 (ii) C1~8アルキル、
  - (iii) C 2~8アルケニル、
  - (iv) C 2~8アルキニル、
  - (v)ハロゲン原子、
  - (vi) CF<sub>3</sub>
- 15 (vii)シアノ、
  - (viii) ニトロ、
  - (ix) NR<sup>9</sup>R<sup>10</sup> (基中、R<sup>9</sup>およびR<sup>10</sup>はそれぞれ独立して、
    - (i)水素原子、
    - (ii)  $C1 \sim 4$  アルキル、
- 20 (iii) C 3~10の単環もしくは二環式炭素環、
  - (iv)  $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環、または

(v) C  $3\sim1$  0 の単環もしくは二環式炭素環で、もしくは $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する  $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環で置換された C  $1\sim4$  アルキルを表わす。)、

- 5 (x) O R <sup>11</sup> (基中、R <sup>11</sup>は
  - (i) 水素原子、
  - (ii) C1~4アルキル、
  - (iii) C 5 ~ 6 の炭素環、
  - (iv) 1~2個の窒素原子、1個の酸素原子および/または1個の硫黄原子を含有する5または6員の複素環、または
  - (v) C 5  $\sim$  6 の炭素環もしくは  $1\sim$  2 個の窒素原子、 1 個の酸素原子および/または 1 個の硫黄原子を含有する 5 または 6 員の複素環で置換された C  $1\sim$  4 アルキルを表わす。)、
  - (xi) SH,

10

- 15 (xii) S  $(O)_n$  R  $^{12}$  (基中、nは0、1または2を表わし、R  $^{12}$  は
  - (i) C 1 ~ 4 アルキル、
  - (ii) C 5 ~ 6 の炭素環、
  - (iii) 1~2個の窒素原子、1個の酸素原子および/または1個の硫黄原子を含有する5または6員の複素環、または
- 20 (iv) C 5~6の炭素環もしくは1~2個の窒素原子、1個の酸素原子および/または1個の硫黄原子を含有する5または6員の複素環で置換されたC 1~4Tルキルを表わす。)、
  - (xiii) COR<sup>11</sup>,
  - $(xiv) COOR^{11}$
- 25 (xv)  $CONR^9R^{10}$ 
  - (xvi) C3~10の単環もしくは二環式炭素環、

(xvii)  $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫 黄原子を含有する $3\sim 1$  0 員の単環もしくは二環式複素環、または (xviii) ハロゲン原子、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、シアノ、= トロ、 $NR^9R^{10}$ 、 $OR^{11}$ 、=  $N-OR^{11}$ 、SH、 $S(O)_nR^{12}$ 、 $COR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、 $CONR^{9}R^{10}$ 、 $C3\sim 10$  の単環もしくは二環式炭素環、および $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim 10$  員の単環もしくは二環式複素環から選ばれる基 $1\sim 2$  個で置換されているC  $1\sim 4$  アルキルを表わし、

R 1 3 は

10 (i) 水素原子、

25

- (ii)  $C1 \sim 4$  アルキル、
- (iii) C 2~4アルケニル、
- (iv) C 2~4アルキニル、
- (v) C3~10の単環もしくは二環式炭素環、
- 15 (vi)  $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫 黄原子を含有する $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環、または
  - (vii) C  $3\sim1$  0 の単環もしくは二環式炭素環で、または $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環で置換されているC  $1\sim4$  アルキルを表わし、
- 20 --- は単結合または二重結合を表わし、



は $C1\sim4$  アルキル、 $C1\sim4$  アルコキシ、ハロゲン原子および $CF_3$  から選ばれる基 $1\sim3$  個で置換されているか、もしくは無置換の $C4\sim6$  炭素環、または窒素原子、酸素原子または硫黄原子を少なくとも1 個含有する $4\sim6$  員の複素環を表わし、

R<sup>1</sup>は

(i)  $1 \sim 5$  個の $R^{14}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1 \sim 8$  アルキル、

- (ii)  $1\sim 5$  個の $\mathbb{R}^{14}$ で置換されているかもしくは無置換の $\mathbb{C}$   $2\sim 8$  アルケニル、
- 5 (iii)  $1 \sim 5$  個の $R^{14}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 2 \sim 8$  アルキニル、
  - (iv) N R <sup>4</sup> R <sup>5</sup> (基中、R <sup>4</sup>およびR <sup>5</sup>はそれぞれ独立して、
    - (i)水素原子、

10

- (ii)  $1\sim5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1\sim15$ アルキル、
- (iii)  $1\sim5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C2\sim15$ アルケニル、
  - (iv)  $1 \sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 2 \sim 15$  アルキニル、
- - (vi)  $1\sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫黄原子を含有する  $3\sim 1$  5 員の単環もしくは二環式複素環を表わす。)、
- 20 (v) O R <sup>6</sup> (基中、R <sup>6</sup>は
  - (i)水素原子、
  - (ii) C 1 ~ 1 0 アルキル、
  - (iii) C 2 ~ 1 0 アルケニル、
  - (iv) C 2~10アルキニル、

(vi)  $1\sim 5$ 個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$ 個の窒素原子、 $1\sim 2$ 個の酸素原子および/または $1\sim 2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim 15$ 員の単環もしくは二環式複素環、または (vii) ハロゲン原子、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、シアノ、= トロ、 $NR^9R^{10}$ 、 $OR^{11}$ 、=  $N-OR^{11}$ 、SH、 $S(O)_nR^{12}$ 、 $COR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、 $CONR^9R^{10}$ 、 $1\sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $C3\sim 10$  の単環もしくは二環式炭素環、および $1\sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim 10$  員の単環も

10 しくは二環式複素環から選ばれる基1~2個で置換されているC1~ 4アルキルを表わす。)、

### (vi) SH,

5

- (vii) S(O), R<sup>7</sup>(基中、nは前記と同じ意味を表わし、R<sup>7</sup>は
  - (i) C1~8アルキル、
- 15 (ii)  $1\sim5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $C3\sim10$ の単環もしくは二環式炭素環、
  - (iii)  $1\sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim 1$  0 員の単環もしくは二環式複素環、または
- 20 (iv)  $1 \sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 3 \sim 10$  の単環もしくは二環式炭素環で、または $1 \sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1 \sim 4$  個の窒素原子、 $1 \sim 2$  個の酸素原子および/または $1 \sim 2$  個の硫黄原子を含有する $3 \sim 10$  員の単環もしくは二環式複素環で置換された $C 1 \sim 4$  アルキルを表わす。)、
- 25 (viii) COR<sup>6</sup>,
  - (ix)  $COOR^6$

- $(x) CONR^4R^5$
- (xi) NR 8 C O R 6 a (基中、R 6 a は
  - (i)水素原子、
  - (ii) C1~10アルキル、
- 5 (iii) C 2~10アルケニル、
  - (iv)  $C2 \sim 10$  P $\nu$ += $\nu$ ,
  - (v)ハロゲン原子、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、シアノ、ニトロ、 $NR^9R^{10}$ 、 $OR^{11a}$ 、 $=N-OR^{11}$ 、SH、 $S(O)_nR^{12}$ 、 $COR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、および $CONR^9R^{10}$ から選ばれる基 $1\sim2$ 個で置換されている $C1\sim4$ アルキルを表わす。)、
  - (xii) NR <sup>8</sup> COOR <sup>6</sup> (基中、R <sup>6</sup> は前記と同じ意味を表わし、R <sup>8</sup> は
    - (i)水素原子、

10

- (ii) C1~8アルキル、
- (iii) C 2~8アルケニル、
- 15 (iv)  $C 2 \sim 8$  アルキニル、
  - (v)  $1\sim5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $3\sim1$  0 の単環もしくは二環式炭素環、
  - (vi)  $1\sim5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含
- 20 有する $3\sim10$ 員の単環もしくは二環式複素環、または (vii) ハロゲン原子、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、シアノ、ニトロ、 $NR^9R^{10}$ 、 $OR^{11}$ 、 $=N-OR^{11}$ 、SH、 $S(O)_nR^{12}$ 、 $COR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、 $CONR^9R^{10}$ 、 $1\sim5$ 個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の  $C3\sim10$ の単環もしくは二環式炭素環、および $1\sim5$ 個の $R^{18}$ で置換 されているかもしくは無置換の $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原

子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~10員の単環も

しくは二環式複素環から選ばれる基 $1\sim2$ 個で置換されている $C1\sim4$ アルキルを表わす。)、

(xiii) N R  $^{8}$  C O N R  $^{4}$  R  $^{5}$ 

(xiv)  $1\sim5$  個の $R^{15}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $3\sim1$  5 の単環もしくは二環式炭素環、または

(xv)  $1\sim5$  個の $R^{15}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する  $3\sim1$  5 員の単環もしくは二環式複素環を表わし、

R<sup>11a</sup>は(i)水素原子、(ii) C1~4アルキル、または(iii) C5~6の炭素環 または1~2個の窒素原子、1個の酸素原子および/または1個の硫黄原子を含有する5または6員の複素環で置換されたC1~4アルキルを表わし、 R<sup>14</sup>は(a)ハロゲン原子、(b) CF<sub>3</sub>、(c) OCF<sub>3</sub>、(d)シアノ、(e)ニトロ、 (f) NR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(g) OR<sup>6</sup>、(h) = N - OR<sup>6</sup>、(j) SH、(k) S(O)<sub>n</sub>R<sup>7</sup>、(l) C OR<sup>6</sup>、(m) COOR<sup>6</sup>、(n) CONR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(o) NR<sup>8</sup>COR<sup>6</sup>、(p) NR<sup>8</sup>CO OR<sup>6</sup>、(q) NR<sup>8</sup>CONR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(r) 1~5個のR<sup>15</sup>で置換されているかもしくは無置換のC3~15の単環もしくは二環式炭素環、または(s) 1~5個の R<sup>15</sup>で置換されているかもしくは無置換の1~4個の窒素原子、1~2個の 酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~15員の単環も しくは二環式複素環を表わし、

R<sup>15</sup>は(a) C1~8アルキル、(b) C2~8アルケニル、(c) C2~8アルキニル、(d) C1~4アルコキシ (C1~4) アルキル、(e) ハロゲン原子、(f) CF<sub>3</sub>、(g) OCF<sub>3</sub>、(h) シアノ、(j)ニトロ、(k) NR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(l) OR<sup>6</sup>、(m) SH、(n) S(O)<sub>n</sub>R<sup>7</sup>、(o) COR<sup>6</sup>、(p) COOR<sup>6</sup>、(q) CONR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(r) NR<sup>8</sup>COR<sup>6</sup>、(s) NR<sup>8</sup>COOR<sup>6</sup>、(t) NR<sup>8</sup>CONR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>、(u) 1~5個のR<sup>20</sup>で置換されているかもしくは無置換のC3~10の単環もしくは二環式炭素環、(v) 1~5個のR<sup>20</sup>で置換されているかもしくは無置換の1~4個の

窒素原子、 $1\sim 2$ 個の酸素原子および/または $1\sim 2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim 10$ 員の単環もしくは二環式複素環、(w)ハロゲン原子、 $CF_3$ 、OC  $F_3$ 、シアノ、ニトロ、 $NR^4R^5$ 、 $OR^6$ 、 $=N-OR^6$ 、SH、 $S(O)_nR^7$ 、 $COR^6$ 、 $COOR^6$ 、 $CONR^4R^5$ 、 $NR^8COR^6$ 、 $NR^8COR^6$ 、 $NR^8COR^6$ 、 $NR^8COR^6$  、N

10 R<sup>17</sup>は(a)ハロゲン原子、(b) CF<sub>3</sub>、(c) OCF<sub>3</sub>、(d)シアノ、(e)ニトロ、(f) NR<sup>9</sup>R<sup>10</sup>、(g) OR<sup>11a</sup>、(h)=N-OR<sup>11</sup>、(j) SH、(k) S(O)<sub>n</sub>R<sup>12</sup>、(l) COR<sup>11</sup>、(m) COOR<sup>11</sup>、(n) CONR<sup>9</sup>R<sup>10</sup>、(o) NR<sup>8</sup>COR<sup>11</sup>、(p) NR<sup>8</sup>COOR<sup>11</sup>、(q) NR<sup>8</sup>CONR<sup>9</sup>R<sup>10</sup>、(r) 1~5個のR<sup>18a</sup>で置換されているかもしくは無置換のC3~15の単環もしくは二環式炭素環、または15 (s) 1~5個のR<sup>18a</sup>で置換されているかもしくは無置換の1~4個の窒素原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~15員の単環もしくは二環式複素環を表わし、

 $R^{18a}$ は(a) C 1~4アルキル、(b) C 2~4アルケニル、(c) C 2~4アル

キニル、(d) ハロゲン原子、(e)  $CF_3$ 、(f)  $OCF_3$ 、(g) シアノ、(h) ニトロ、(j) SH、(k)  $S(O)_n R^{12}$ 、(l)  $NR^9 R^{10}$ 、(m)  $OR^{11a}$ 、(n)  $COR^{11}$ 、(o)  $COR^{11}$ 、または(p)  $CONR^9 R^{10}$ を表わし、

 $R^{19}$ は $C1\sim4$ アルキル、 $C1\sim4$ アルコキシ、ハロゲン原子、 $CF_3$ 、O5  $CF_3$ 、シアノ、ニトロ、アミノ、NH( $C1\sim4$ アルキル)、またはN( $C1\sim4$ アルキル)。を表わし、

 $R^3$ は(i)  $1\sim 5$ 個の $R^{16}$ によって置換されている $C5\sim 10$ の単環もしくは二環式炭素環、または

(ii)  $1\sim 5$  個の $R^{16}$ によって置換されている $1\sim 4$  個の窒素原子、 $1\sim 2$  個の酸素原子および/または $1\sim 2$  個の硫黄原子を含有する $5\sim 1$  0 員の単環もしくは二環式複素環を表わし、

R 16は、

10

- (a) C1~8アルキル、
- (b) C 2~8アルケニル、
- 15 (c) C 2~8アルキニル、
  - (d) ハロゲン原子、
  - (e) C F 3,
  - $(f) O C F_3$
  - (g)シアノ、
- 20  $(h) = P \square$ 
  - (i) N R 9 R 10,
  - $(k) O R^{11}$
  - (1) SH
  - $(m) S(O)_n R^{12}$  (ただし、フェニルチオは除く)、
- 25 (n)  $C O R^{11}$ 
  - (o)  $COOR^{11}$
  - (p)  $CONR^9R^{10}$

- (q)  $NR^8COR^{11}$ ,
- (r) NR <sup>8</sup>COOR <sup>11</sup>
- (s)  $NR^8CONR^9R^{10}$ ,
- (t) C3~10の単環もしくは二環式炭素環、

(v)ハロゲン原子、 $CF_3$ 、 $OCF_3$ 、シアノ、ニトロ、 $NR^9R^{10}$ 、 $OR^{11}$ 、 $=N-OR^{11}$ 、SH、 $S(O)_nR^{12}$ 、 $COR^{11}$ 、 $COOR^{11}$ 、 $CONR^9R^{10}$ 、 $NR^8COR^{11}$ 、 $NR^8COR^{11}$ 、 $NR^8CONR^9R^{10}$ 、 $C3\sim 100$ 

10 単環もしくは二環式炭素環、および $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim1$ 0員の単環もしくは二環式複素環から選ばれる基 $1\sim2$ 個で置換されているC1 $\sim4$ アルキルを表わす。

ただし、(1) XおよびWが炭素原子、YおよびZが窒素原子、UがC  $R^4$ 、15 かつ $R^1$ がO  $R^6$ を表わすとき、 $R^3$ は1個のハロゲンで置換されたフェニル、1 個のトリフルオロメチルで置換されたフェニル、トリフルオロメチルおよびニトロで置換されたフェニルは表わさず、(2) X、YおよびZが炭素原子であり、UおよびWが窒素原子の時、 $R^3$ は $1\sim5$  個の $R^{16}$ によって置換されているC  $5\sim1$  0 の単環もしくは二環式炭素環である。)

- 20 で示される化合物、その薬学的に許容される塩またはそれらの水和物、
  - (2) それらの製造方法、および
  - (3) それらを含有するCRF受容体拮抗剤に関する。

本明細書中で用いるC1~4アルキルとは、メチル、エチル、プロピル、 ブチル基およびこれらの異性体を意味する。

25 本明細書中で用いるC1~8アルキルとは、メチル、エチル、プロピル、 ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル基およびこれらの異性体 を意味する。

本明細書中で用いるC1~15アルキルとは、メチル、エチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル、ノニル、デシル、ウンデシル、ドデシル、トリデシル、テトラデシル、ペンタデシル基およびこれらの異性体を意味する。

5 本明細書中で用いるC1~4アルコキシとは、メトキシ、エトキシ、プロ ポキシ、ブトキシ基およびこれらの異性体を意味する。

本明細書中で用いるC2~4アルケニルとは、ビニル、プロペニル、ブテニル基およびこれらの異性体を意味する。

本明細書中で用いるC2~8アルケニルとは、1~3個の二重結合を有す 10 るエチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル基 およびこれらの異性体を意味する。例えば、ビニル、プロペニル、ブテニル、 ペンテニル、ヘキセニル、ヘキサジエニル、ヘプテニル、ヘプタジエニル、 オクテニル、オクタジエニル基等が挙げられる。

本明細書中で用いるC2~15アルケニルとは、1~3個の二重結合を有 するエチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル、 ノニル、デシル、ウンデシル、ドデシル、トリデシル、テトラデシル、ペン タデシル基およびこれらの異性体を意味する。例えば、ビニル、プロペニル、 ブテニル、ペンテニル、ヘキセニル、ヘキサジエニル、ヘプテニル、ヘプタ ジエニル、オクテニル、オクタジエニル、ノネニル、ノナジエニル、デセニ ル、デカジエニル、ウンデセニル、ドデセニル、トリデセニル、テトラデセ ニル、ペンタデセニル基等が挙げられる。

本明細書中で用いるC2~4アルキニルとは、エチニル、プロピニル、ブ チニルおよびこれらの異性体を意味する。

本明細書中で用いるC2~8アルキニルとは、1~3個の三重結合を有す 25 るエチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル基 およびこれらの異性体を意味する。例えば、エチニル、プロピニル、ブチニ

ル、ペンチニル、ヘキシニル、ヘキサジエニル、ヘプチニル、ヘプタジエニル、オクチニル、オクタジエニル基等が挙げられる。

本明細書中で用いるC2~15アルキニルとは、1~3個の三重結合を有

するエチル、プロピル、ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル、 ノニル、デシル基およびこれらの異性体を意味する。例えば、エチニル、プロピニル、ブチニル、ペンチニル、ヘキシニル、ヘキサジエニル、ヘプチニル、ヘプタジエニル、オクチニル、オクタジエニル、ノニニル、デシニル、ウンデシニル、ドデシニル、トリデシニル、テトラデシニル、ペンタデシニル基等が挙げられる。

10 本明細書中で用いるハロゲン原子とはフッ素、塩素、臭素およびヨウ素である。

本明細書中で用いるC1~4アルコキシ(C1~4)アルキルとは、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、ブトキシ基およびこれらの異性体基1個で置換されているメチル、エチル、プロピル、ブチル基およびこれらの異性体を意味する。

15

本明細書中で用いるC4~6炭素環には、C4~6の炭素環アリール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが含まれる。例えば、シクロブタン、シクロペンタン、シクロペキサン、シクロペンテン、シクロペキセン、シクロペンタジエン、シクロペキサジエン、ベンゼン環等が挙げられる。

20 本明細書中で用いるC5~6炭素環とは、C5~6の炭素環アリール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが含まれる。例えば、シクロペンタン、シクロペキサン、シクロペンテン、シクロペキセン、シクロペンタジエン、シクロペキサジエン、ベンゼン環等が挙げられる。

本明細書中で用いるC3~10の単環もしくは二環式炭素環には、C3~ 10の単環もしくは二環式炭素環アリール、またはその一部もしくは全部が 飽和したものが含まれる。例えば、シクロプロパン、シクロブタン、シクロ

ペンタン、シクロヘキサン、シクロヘプタン、シクロペンテン、シクロヘキセン、シクロペンタジエン、シクロヘキサジエン、ベンゼン、ペンタレン、インデン、ナフタレン、アズレン、パーヒドロペンタレン、インダン、パーヒドロインデン、テトラヒドロナフタレン、パーヒドロナフタレン、パーヒドロアズレン環等が挙げられる。

本明細書中で用いるC3~15の単環もしくは二環式炭素環には、C3~15の単環もしくは二環式炭素環アリール、またはその一部もしくは全部が 飽和したもの、または架橋した二環炭素環が含まれる。例えば、シクロプロ パン、シクロブタン、シクロペンタン、シクロヘキサン、シクロヘプタン、

10 シクロペンテン、シクロヘキセン、シクロペンタジエン、シクロヘキサジエン、ベンゼン、ペンタレン、インデン、ナフタレン、アズレン、ヘプタレン、パーヒドロペンタレン、インダン、パーヒドロインデン、テトラヒドロナフタレン、パーヒドロナフタレン、パーヒドロナフタレン、パーヒドロカフタレン、ビシクロ[3.1.1] -ヘプタン環等が挙げられる。

本明細書中で用いるC5~10の単環もしくは二環式炭素環には、C5~10の単環もしくは二環式炭素環アリール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが含まれる。例えば、シクロペンタン、シクロヘキサン、シクロペプタン、シクロペンテン、シクロペナセン、シクロペプテン、シクロペンテン、シクロペンテン、シクロペプタジエン、ベンゼン、ペンタンチジエン、シクロヘキサジエン、シクロヘプタジエン、ベンゼン、ペンタン、インデン、ナフタレン、アズレン、パーヒドロペンタレン、インダン、パーヒドロインデン、テトラヒドロナフタレン、パーヒドロナフタレン、パーヒドロアズレン環等が挙げられる。

本明細書中で用いる窒素原子、酸素原子または硫黄原子を少なくとも1個含有する $4\sim6$ 員の複素環には、窒素原子、酸素原子または硫黄原子を少なくとも1個含有する $4\sim6$ 員の複素環アリール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが含まれる。例えば、アゼチジン、ピロリジン、ピロリン、

25

ピロール、テトラヒドロフラン、ジヒドロフラン、フラン、テトラヒドロチオフェン、ジヒドロチオフェン、チオフェン、ピペリジン、ジヒドロピリジン、ピリジン、テトラヒドロピラン、ジヒドロピラン、ピラン、テトラヒドロチオピラン、ジヒドロチオピラン、チオピラン等が挙げられる。

5 本明細書中で用いる1~2個の窒素原子、1個の酸素原子および/または 1個の硫黄原子を含有する5~6員の複素環には、1~2個の窒素原子、1 個の酸素原子および/または1個の硫黄原子を含有する5~6員の複素環ア リール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが含まれる。例えば、 ピロール、イミダゾール、ピラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、

10 ピリダジン、フラン、ピラン、チオフェン、チアイン(チオピラン)、オキサゾール、イソオキサゾール、チアゾール、イソチアゾール、ピロリン、ピロリジン、ピペリジン、イミダゾリン、イミダゾリジン、ピラゾリン、ピラゾリン、ピラゾリン、パーヒドロピリミジン、パーヒドロピリダジン、ジヒドロフラン、テトラヒドロフラン、テトラヒドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、チトラヒドロチオフェン、チトラヒドロチオフェン、チトラヒドロチオフェン、チャカリン等が挙げられる。

本明細書中で用いる $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環には、 $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim1$  0 員の単環もしくは二環式複素環アリール、またはその一部もしくは全部飽和したものが含まれる。

20

25

前記した1~4個の窒素原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~10員の単環もしくは二環式複素環アリールとしては、ピロール、イミダゾール、ピラゾール、トリアゾール、テトラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、アゼピン、ジアゼピン、フラン、ピラン、オキセピン、チオフェン、チアイン(チオピラン)、チエ

ピン、オキサゾール、イソオキサゾール、オキサジアゾール、オキサジン、 オキサジアジン、オキサゼピン、オキサジアゼピン、チアゾール、イソチア ゾール、チアジアゾール、チアジン、チアジアジン、チアゼピン、チアジア ゼピン、インドール、イソインドール、インドリジン、ベンゾフラン、イソ ベンゾフラン、ベンゾチオフェン、イソベンゾチオフェン、インダゾール、 キノリン、イソキノリン、キノリジン、フタラジン、ナフチリジン、キノキ サリン、キナゾリン、シンノリン、ベンゾオキサゾール、ベンゾオキサジア ゾール、ベンゾチアゾール、ベンゾイミダゾール、ベンゾフラザン、ベンゾ チアジアゾール、ベングトリアゾール環等が挙げられる。

- 10 前記した $1 \sim 4$ 個の窒素原子、 $1 \sim 2$ 個の酸素原子および/または $1 \sim 2$ 個の硫黄原子を含有する3~10員の単環もしくは二環式複素環アリールの 一部もしくは全部飽和したものとしては、アジリジン、アゼチン、アゼチジ ン、ピロリン、ピロリジン、イミダゾリン、イミダゾリジン、ピラゾリン、 ピラゾリジン、トリアゾリン、トリアゾリジン、テトラゾリン、テトラゾリ ジン、ピペリジン、ピペラジン、ジヒドロピリジン、テトラヒドロピリジン、 15 ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラジン、ジヒドロピリミジン、テトラヒ ドロピリミジン、パーヒドロピリミジン、ジヒドロピリダジン、テトラヒド ロピリダジン、パーヒドロピリダジン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロア ゼピン、パーヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、テトラヒドロジアゼピ ン、パーヒドロジアゼピン、オキシラン、オキセタン、ジヒドロフラン、テ 20 トラヒドロフラン、ジヒドロピラン、テトラヒドロピラン、ジヒドロオキセ ピン、テトラヒドロオキセピン、パーヒドロオキセピン、チイラン、チエタ ン、ジヒドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、ジヒドロチアイン(ジ ヒドロチオピラン)、テトラヒドロチアイン(テトラヒドロチオピラン)、
- 25 ジヒドロチエピン、テトラヒドロチエピン、パーヒドロチエピン、オキサゾ リン (ジヒドロオキサゾール)、オキサゾリジン (テトラヒドロオキサゾー

ル)、ジヒドロイソオキサゾール、テトラヒドロイソオキサゾール、オキサ ジアゾリン (ジヒドロオキサジアゾール)、オキサジアゾリジン (テトラヒ ドロオキサジアゾール)、チアゾリン(ジヒドロチアゾール)、チアゾリジ ン(テトラヒドロチアゾール)、ジヒドロイソチアゾール、テトラヒドロイ ソチアゾール、モルホリン、チオモルホリン、インドリン、イソインドリン、 ジヒドロベンゾフラン、パーヒドロベンゾフラン、ジヒドロイソベンゾフラ ン、パーヒドロイソベンゾフラン、ジヒドロベンゾチオフェン、パーヒドロ ベンゾチオフェン、ジヒドロイソベンゾチオフェン、パーヒドロイソベンゾ チオフェン、ジヒドロインダゾール、パーヒドロインダゾール、ジヒドロキ 10 ノリン、テトラヒドロキノリン、パーヒドロキノリン、ジヒドロイソキノリ ン、テトラヒドロイソキノリン、パーヒドロイソキノリン、ジヒドロフタラ ジン、テトラヒドロフタラジン、パーヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリ ジン、テトラヒドロナフチリジン、パーヒドロナフチリジン、ジヒドロキノ キサリン、テトラヒドロキノキサリン、パーヒドロキノキサリン、ジヒドロ キナゾリン、テトラヒドロキナゾリン、パーヒドロキナゾリン、ジヒドロシ 15 ンノリン、テトラヒドロシンノリン、パーヒドロシンノリン、ジヒドロベン ゾオキサゾール、パーヒドロベンゾオキサゾール、ジヒドロベンゾチアゾー ル、パーヒドロベンゾチアゾール、ジヒドロベンゾイミダゾール、パーヒド ロベンゾイミダゾール、ジオキソラン、ジオキサン、ジオキサジン、ジオキ サインダン、クロマン、イソクロマン環等が挙げられる。 20

本明細書中で用いる $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim1$ 5員の単環もしくは二環式複素環には、 $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim1$ 5員の単環もしくは二環式複素環アリール、またはその一部もしくは全部飽和したものが含まれる。

前記した $1 \sim 4$ 個の窒素原子、 $1 \sim 2$ 個の酸素原子および/または $1 \sim 2$ 

25

個の硫黄原子を含有する3~15員の単環もしくは二環式複素環アリールとしては、ピロール、イミダゾール、ピラゾール、トリアゾール、テトラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、アゼピン、ジアゼピン、フラン、ピラン、オキセピン、チオフェン、チアイン(チオピラン)、チエピン、オキサゾール、イソオキサゾール、オキサジアゾール、オキサジン、オキサジアジン、オキサゼピン、オキサジアゼピン、チアゾール、イソチアゾール、チアジアゾール、チアジン、チアジン、チアゼピン、チアジアゼピン、インドール、イソインドール、インドリジン、ベンゾフラン、イソベンゾフラン、ベンゾチオフェン、イソベングチオフェン、インダゾール、キノリン、イソキノリン、キノリジン、フタラジン、ナフチリジン、キノキサリン、キナゾリン、シンノリン、ベングオキサゾール、ベングオキサジアゾール、ベングチアゾール、ベングイミダゾール、ベングオキサジアゾアゼピン、ベングトリアゾール、ベングオキサゼピン、ベングオキサジア

ゼピン、ベンゾチアゼピン、ベンゾチアジアゾール、ベンゾチアジアゼピン、

15 ベンゾフラザン環等が挙げられる。

10

前記した1~4個の窒素原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~15員の単環もしくは二環式複素環アリールの一部もしくは全部飽和したものとしては、アジリジン、アゼチン、アゼチジン、ピロリン、ピロリジン、イミダブリン、イミダブリジン、ピラブリン、20ピラブリジン、トリアブリン、トリアブリジン、テトラブリン、テトラブリジン、ピペリジン、ピペラジン、ジヒドロピリジン、テトラヒドロピリジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラジン、ジヒドロピリミジン、テトラヒドロピリミジン、パーヒドロピリミジン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、パーヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、テトラヒドロアゼピン、パーヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、テトラヒドロジアゼピン、パーヒドロジアゼピン、オキセタン、ジヒドロフラン、テ

トラヒドロフラン、ジヒドロピラン、テトラヒドロピラン、ジヒドロオキセ ピン、テトラヒドロオキセピン、パーヒドロオキセピン、チイラン、チエタ ン、ジヒドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、ジヒドロチアイン(ジ ヒドロチオピラン)、テトラヒドロチアイン(テトラヒドロチオピラン)、 ジヒドロチエピン、テトラヒドロチエピン、パーヒドロチエピン、オキサゾ リン (ジヒドロオキサゾール)、オキサゾリジン (テトラヒドロオキサゾー *ル*)、ジヒドロイソオキサゾール、テトラヒドロイソオキサゾール、オキサ ジアゾリン (ジヒドロオキサジアゾール)、オキサジアゾリジン (テトラヒ ドロオキサジアゾール)、チアゾリン(ジヒドロチアゾール)、チアゾリジ 10 ン(テトラヒドロチアゾール)、ジヒドロイソチアゾール、テトラヒドロイ ソチアゾール、モルホリン、チオモルホリン、インドリン、イソインドリン、 ジヒドロベンゾフラン、パーヒドロベンゾフラン、ジヒドロイソベンゾフラ ン、パーヒドロイソベンゾフラン、ジヒドロベンゾチオフェン、パーヒドロ ベンゾチオフェン、ジヒドロイソベンゾチオフェン、パーヒドロイソベンゾ チオフェン、ジヒドロインダゾール、パーヒドロインダゾール、ジヒドロキ 15 ノリン、テトラヒドロキノリン、パーヒドロキノリン、ジヒドロイソキノリ ン、テトラヒドロイソキノリン、パーヒドロイソキノリン、ジヒドロフタラ ジン、テトラヒドロフタラジン、パーヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリ ジン、テトラヒドロナフチリジン、パーヒドロナフチリジン、ジヒドロキノ キサリン、テトラヒドロキノキサリン、パーヒドロキノキサリン、ジヒドロ 20 キナゾリン、テトラヒドロキナゾリン、パーヒドロキナゾリン、ジヒドロシ ンノリン、テトラヒドロシンノリン、パーヒドロシンノリン、ジヒドロベン ゾオキサゾール、パーヒドロベンゾオキサゾール、ジヒドロベンゾチアゾー ル、パーヒドロベンゾチアゾール、ジヒドロベンゾイミダゾール、パーヒド ロベンゾイミダゾール、ジヒドロベンゾアゼピン、テトラヒドロベンゾアゼ 25 ピン、ジヒドロベンゾジアゼピン、テトラヒドロベンゾジアゼピン、ジヒド

ロベンゾオキサゼピン、テトラヒドロベンゾオキサゼピン、ジオキソラン、 ジオキサン、ジオキサジン、ジオキサインダン、クロマン、イソクロマン環 等が挙げられる。

本明細書中で用いる $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する $5\sim1$ 0員の単環もしくは二環式複素環には、 $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する $5\sim1$ 0員の単環もしくは二環式複素環アリール、またはその一部もしくは全部飽和したものが含まれる。

5

25

前記した $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 10 個の硫黄原子を含有する5~10員の単環もしくは二環式複素環アリールと しては、ピロール、イミダゾール、ピラゾール、トリアゾール、テトラゾー ル、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、アゼピン、ジアゼピン、 フラン、ピラン、オキセピン、チオフェン、チアイン(チオピラン)、チェ ピン、オキサゾール、イソオキサゾール、オキサジアゾール、オキサジン、 オキサジアジン、オキサゼピン、オキサジアゼピン、チアゾール、イソチア 15 ゾール、チアジアゾール、チアジン、チアジアジン、チアゼピン、チアジア ゼピン、インドール、イソインドール、インドリジン、ベンゾフラン、イソ ベゾフラン、ベンゾチオフェン、イソベンゾチオフェン、インダゾール、キ ノリン、イソキノリン、キノリジン、フタラジン、ナフチリジン、キノキサ リン、キナゾリン、シンノリン、ベンゾオキサゾール、ベンゾオキサジアゾ 20 ール、ベンゾチアゾール、ベンゾイミダゾール、ベンゾフラザン、ベンゾチ アジアゾール、ベンゾトリアゾール環等が挙げられる。

前記した1~4個の窒素原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する5~10員の単環もしくは二環式複素環アリールの一部もしくは全部飽和したものとしては、ピロリン、ピロリジン、イミダゾリン、イミダゾリジン、ピラゾリン、トリアブリン、トリア

ゾリジン、テトラゾリン、テトラゾリジン、ピペリジン、ピペラジン、ジヒ ドロピリジン、テトラヒドロピリジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピ ラジン、ジヒドロピリミジン、テトラヒドロピリミジン、パーヒドロピリミ ジン、ジヒドロピリダジン、テトラヒドロピリダジン、パーヒドロピリダジ - ン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、パーヒドロアゼピン、ジヒ ドロジアゼピン、テトラヒドロジアゼピン、パーヒドロジアゼピン、ジヒド ロフラン、テトラヒドロフラン、ジヒドロピラン、テトラヒドロピラン、ジ ヒドロオキセピン、テトラヒドロオキセピン、パーヒドロオキセピン、ジヒ ドロチオフェン、テトラヒドロチオフェン、ジヒドロチアイン(ジヒドロチ オピラン)、テトラヒドロチアイン(テトラヒドロチオピラン)、ジヒドロ 10 チエピン、テトラヒドロチエピン、パーヒドロチエピン、オキサゾリン(ジ ヒドロオキサゾール)、オキサゾリジン(テトラヒドロオキサゾール)、ジ ヒドロイソオキサゾール、テトラヒドロイソオキサゾール、オキサジアゾリ ン(ジヒドロオキサジアゾール)、オキサジアゾリジン(テトラヒドロオキ 15 サジアゾール)、チアゾリン(ジヒドロチアゾール)、チアゾリジン(テト ラヒドロチアゾール)、ジヒドロイソチアゾール、テトラヒドロイソチアゾ ール、モルホリン、チオモルホリン、インドリン、イソインドリン、ジヒド ロベンゾフラン、パーヒドロベンゾフラン、ジヒドロイソベンゾフラン、パ ーヒドロイソベンゾフラン、ジヒドロベンゾチオフェン、パーヒドロベンゾ チオフェン、ジヒドロイソベンゾチオフェン、パーヒドロイソベンゾチオフ 20 ェン、ジヒドロインダゾール、パーヒドロインダゾール、ジヒドロキノリン、 テトラヒドロキノリン、パーヒドロキノリン、ジヒドロイソキノリン、テト ラヒドロイソキノリン、パーヒドロイソキノリン、ジヒドロフタラジン、テ トラヒドロフタラジン、パーヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリジン、テ トラヒドロナフチリジン、パーヒドロナフチリジン、ジヒドロキノキサリン、 25 テトラヒドロキノキサリン、パーヒドロキノキサリン、ジヒドロキナゾリン、

テトラヒドロキナゾリン、パーヒドロキナゾリン、ジヒドロシンノリン、テトラヒドロシンノリン、パーヒドロシンノリン、ジヒドロベンゾオキサゾール、パーヒドロベンゾオキサゾール、ジヒドロベンゾチアゾール、パーヒドロベンゾイミダゾール、パーヒドロベンゾイミダゾール、ジオキサフン、ジオキサン、ジオキサン、ジオキサインダン、クロマン、イソクロマン環等が挙げられる。

一般式(I)で示される本発明化合物において、



で表わされる環は、飽和、一部飽和、もしくは不飽和の5員の炭素環または 10 複素環を表わす。この環中のXおよびYは、Xが炭素原子およびYが窒素原 子、Xが窒素原子およびYが炭素原子、またはXおよびYのいずれも炭素原 子のいずれの組合せであっても良い。

具体的には、(i) Xが炭素原子、Yが窒素原子であり、UおよびZが炭素原子または窒素原子、およびWが炭素原子である組合せ、

- 15 (ii) Xが窒素原子、Yが炭素原子であり、UおよびZが炭素原子または窒素原子、およびWが炭素原子である組合せ、
  - (iii) XおよびYが炭素原子であり、UおよびWが炭素原子または窒素原子であり、Zが炭素原子である組合せ、
- (iv) XおよびYが炭素原子であり、Uが窒素原子およびZが酸素原子または 20 硫黄原子であるか、Uが酸素原子または硫黄原子およびZが窒素原子であり、 Wが炭素原子である組合せ、または
  - (v) XおよびYが炭素原子であり、ZおよびWが窒素原子であり、UがC=O またはC=Sである組合せが好ましい。

より好ましくは、

- (i-1) X、UおよびWが炭素原子、YおよびZが窒素原子である組合せ、
- (i-2) X、ZおよびWが炭素原子、YおよびUが窒素原子である組合せ、
- (i-3) X、Z、UおよびWが炭素原子、Yが窒素原子である組合せ、
- (ii-1) X、ZおよびUが窒素原子、YおよびWが炭素原子である組合せ、
- 5 (ii-2) XおよびZが窒素原子、Y、UおよびWが炭素原子である組合せ、
  - (ii-3) XおよびUが窒素原子、Y、ZおよびWが炭素原子である組合せ、
  - (ii-4) Xが窒素原子、Y、Z、UおよびWが炭素原子である組合せ、
  - (iii-1) X、YおよびZが炭素原子、UおよびWが窒素原子である組合せ、
  - (iii-2) X、Y、ZおよびUが炭素原子、Wが窒素原子である組合せ、
- 10 (iv-1) X、YおよびWが炭素原子、Zが酸素原子、Uが窒素原子である組合せ、
  - (iv-1) X、YおよびWが炭素原子、Zが硫黄原子、Uが窒素原子である組合せ、
  - (iv-2) X、YおよびWが炭素原子、Zが窒素原子、Uが酸素原子である組合せ、
  - (iv-2) X、YおよびWが炭素原子、Zが窒素原子、Uが硫黄原子である組合せ、
  - (v-1) XおよびYが炭素原子であり、ZおよびWが窒素原子であり、UがC=
- 15 Oである組合せ、
  - (v-2) XおよびYが炭素原子であり、ZおよびWが窒素原子であり、UがC=Sである組合せである。
- 一般式 (I) で示される本発明化合物において、より具体的な化合物としては以下の一般式 (I-i) ~一般式 (I-xxvi) で示されるものが挙げら 20 れる。

一般式 (I-i) ~一般式 (I-xxvi) で示される本発明化合物中、好ま しい化合物としては以下の化合物が挙げられる。

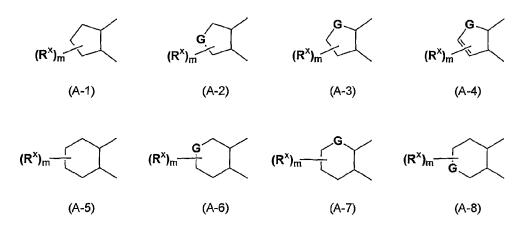
## 一般式(I)で示される本発明化合物において、



が表わす $C4\sim6$  炭素環または窒素原子、酸素原子または硫黄原子を少なくとも1 個含有する $4\sim6$  員の複素環としては、 $C4\sim6$  の炭素環アリール、

5 またはその一部もしくは全部が飽和したもの、または窒素原子、酸素原子または硫黄原子を少なくとも1個含有する4~6員の複素環アリール、またはその一部もしくは全部が飽和したものが挙げられる。

好ましいA環としては、例えば、以下に示す環が挙げられる。



- 10 (式中、GはO、SまたはNHを表わし、R<sup>X</sup>はC1~4Pルキル、C1~4Pルコキシ、D10、D20、またはD30。を表わし、D30。) 一般式(D30。 一般式(D30。 一般式(D30。 「対象ので示される本発明化合物において、好ましいD30。)
  - (i)  $1 \sim 5$  個の $R^{14}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1 \sim 8$  アルキル、
  - (ii)  $1 \sim 5$  個の $R^{14}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $2 \sim 8$  アルケニ
- 15 ル、
  - (iii)  $1 \sim 5$  個の $R^{14}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 2 \sim 8$  アルキニル、
  - (iv) N R 4 R 5,

- $(v) O R^{6}$
- (vi)  $1\sim5$  個の $R^{15}$  で置換されているかもしくは無置換のC  $3\sim1$  5 の単環もしくは二環式炭素環、または
- (vii) 1~5個のR<sup>15</sup>で置換されているかもしくは無置換の1~4個の窒素原 5 子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3~ 15員の単環もしくは二環式複素環が挙げられる。

上記の好ましいR<sup>1</sup>基中のNR<sup>4</sup>R<sup>5</sup>中、好ましいR<sup>4</sup>およびR<sup>5</sup>の組合せと しては、

- (a)  $R^4$ が(i) 水素原子であり、 $R^5$ が(ii)  $1\sim 5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかも しくは無置換のC1~15Tルキル、(iii)  $1\sim 5$ 個の $R^{17}$ で置換されている かもしくは無置換のC2~15Tルケニル、(iv)  $1\sim 5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換のC2~15Tルキニル、(v)  $1\sim 5$ 個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換のC3~15の単環もしくは二環式炭素環、または(vi)  $1\sim 5$ 個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$ 個の窒
- 15 素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または $1\sim2$ 個の硫黄原子を含有する  $3\sim1$ 5員の単環もしくは二環式複素環であるか、または
  - (b)  $R^4$ が(ii)  $1\sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $1\sim 1$  5 アルキル、(iii)  $1\sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $2\sim 1$  5 アルケニル、(iv)  $1\sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換
- 20 のC 2  $\sim$  1 5 T  $\nu$  キニル、または(v-1) C 3  $\sim$  6 の単環の飽和炭素環であり、  $R^5$  が(ii) 1  $\sim$  5 個の $R^{17}$  で置換されているかもしくは無置換のC 1  $\sim$  1 5 T  $\nu$   $\tau$   $\nu$   $\tau$   $\nu$ 
  - (iii)  $1 \sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 2 \sim 15$  アルケニル、
- 25 (iv)  $1 \sim 5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C 2 \sim 15$  アルキニル、

(v)  $1 \sim 5$  個の $R^{18}$ で置換されているかもしくは無置換のC  $3 \sim 1$  5 の単環もしくは二環式炭素環、

(vi)  $1 \sim 5$  個の $R^{18}$  で置換されているかもしくは無置換の $1 \sim 4$  個の窒素原子、 $1 \sim 2$  個の酸素原子および/または $1 \sim 2$  個の硫黄原子を含有する $3 \sim 1$  5 員の単環もしくは二環式複素環である組合せが挙げられる。

5

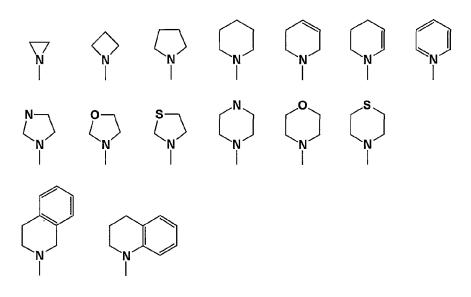
10

15

上記の好ましい $R^1$ 基中の $1\sim 5$ 個の $R^{15}$ で置換されているかもしくは無置換の $1\sim 4$ 個の窒素原子、 $1\sim 2$ 個の酸素原子および/または $1\sim 2$ 個の硫黄原子を含有する $3\sim 15$ 員の単環もしくは二環式複素環において、該複素環はその環中の窒素原子を介して結合するものが好ましい。すなわち、 $1\sim 5$ 個の $R^{15}$ で置換されているかもしくは無置換の式



で示される基(この基は、窒素原子を必ず1個含有し、さらに窒素原子、酸素原子または硫黄原子を1個含有していても良い $3\sim15$ 員の単環もしくは二環式複素環を表わす。)が挙げられる。具体的には、 $1\sim5$ 個の $R^{15}$ で置換されているかもしくは無置換の下記の複素環が挙げられる。



本発明の具体的な化合物としては、後述の実施例で示す化合物、およびそれらの非毒性塩が挙げられる。

本発明においては、特に指示しない限り異性体はこれをすべて包含する。例えば、アルキル基、アルコキシ基、アルケニル基およびアルキニル基には直鎖のものおよび分岐鎖のものが含まれる。さらに二重結合、環、縮合環における異性体(E、Z、シス、トランス体)、不斉炭素の存在等による異性体(R、S体、 $\alpha$ 、 $\beta$ 体、エナンチオマー、ジアステレオマー)、旋光性を有する光学異性体(D、L、d、1体、+、一体)、クロマトグラフィー分離による極性体(高極性体、低極性体)、平衡化合物、これらの任意の割合の化合物、ラセミ混合物はすべて本発明に含まれる。

#### [塩]

10

15

20

一般式(I)で示される本発明化合物は、公知の方法で相当する薬学的に 許容される塩に変換される。薬学的に許容される塩とは、アルカリ金属塩、 アルカリ土類金属塩、アンモニウム塩、アミン塩、酸付加物塩等が挙げられ る。

塩は毒性のない、水溶性のものが好ましい。適当な非毒性塩としては、アルカリ金属(カリウム、ナトリウム等)の塩、アルカリ土類金属(カルシウム、マグネシウム等)の塩、アンモニウム塩、薬学的に許容される有機アミン(テトラメチルアンモニウム、トリエチルアミン、メチルアミン、ジメチルアミン、シクロペンチルアミン、ベンジルアミン、フェネチルアミン、ピペリジン、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン、リジン、アルギニン、NーメチルーDーグルカミン等)の塩が挙げられる。好ましくは、アルカリ金属の塩である。

酸付加物塩は毒性のない、水溶性のものが好ましい。適当な酸付加物塩と 25 しては、塩酸塩、臭化水素塩、硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩のような無機酸塩、 または酢酸塩、トリフルオロ酢酸塩、乳酸塩、酒石酸塩、シュウ酸塩、フマ

ル酸塩、マレイン酸塩、クエン酸塩、安息香酸塩、メタンスルホン酸塩、エタンスルホン酸塩、ベンゼンスルホン酸塩、トルエンスルホン酸塩、イセチオン酸塩、グルクロン酸塩、グルコン酸塩のような有機酸塩が挙げられる。

また、一般式(I)で示される本発明化合物およびその塩は、公知の方法 5 により水和物に変換することもできる。

# [本発明化合物の製造方法]

15

本発明化合物は、例えば以下の方法で製造することができる。

(A) 一般式 (I) 中、 $R^1$ がOHであり、かつ $R^2$ および $R^3$ 中にOH、シアノ、 $=N-OR^{11}$ またはそれらを含有する基を表わさない化合物、すなわち 10 一般式 (I-A)

(式中、 $Z^a$ 、 $U^a$ および $R^{3-a}$ はそれぞれ、Z、Uおよび $R^3$ と同じ意味を表わす。ただしそれらの基中にOH、シアノ、 $=N-OR^{11}$ またはそれらを含有する基を表わさない。その他の記号は前記を同じ意味を表わす。)で示される化合物は、-般式( $\Pi-1$ )

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物と、 一般式 (III-1)

(式中、Aa環は飽和または一部飽和のC4~6炭素環または4~6員複素環を表わし、Etはエチル基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を反応させるか、あるいは引き続いて酸化反応に付すことによって製造することができる。

上記一般式 (II) と一般式 (III) で示される化合物の反応は公知であり、例えば、有機溶媒 (酢酸等) 中で、室温~還流温度で行なわれる。

酸化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ジフェニルエーテル等)中、 金属触媒(パラジウム炭素、パラジウム、水酸化パラジウム、酢酸パラジウ 10 ム、パラジウム黒等)を用いて、0℃~250℃で行なわれる。

5

(B) 一般式(I) 中、R<sup>1</sup>はOHを表わさず、かつシアノ、=N-OR<sup>6</sup>またはそれらを含有する基、およびC3 $\sim$ 10の単環もしくは二環式炭素環、1 $\sim$ 4個の窒素原子、1 $\sim$ 2個の酸素原子および/または1 $\sim$ 2個の硫黄原子を含有する3 $\sim$ 10員の単環もしくは二環式複素環を表わさず、R<sup>2</sup>および R<sup>3</sup>はOH、シアノ、=N-OR<sup>11</sup>またはそれらを含有する基を表わさない化合物、つまり一般式(I-B)

(式中、 $R^{1-a}$ は $R^{1}$ と同じ意味を表わす。ただしOHを表わさず、かつシア ノ、 $=N-OR^{6}$ またはそれらを含有する基、および $C3\sim10$ の単環もしく 20 は二環式炭素環、 $1\sim4$ 個の窒素原子、 $1\sim2$ 個の酸素原子および/または

 $1 \sim 2$  個の硫黄原子を含有する  $3 \sim 1$  0 員の単環もしくは二環式複素環は表わさない。その他の記号は前記を同じ意味を表わす。)

で示される化合物は、一般式(IV)

$$\begin{array}{c|cccc}
X \\
& Z^a \\
& U^a \\
& V \\
& V \\
& R^{3-a}
\end{array} (IV)$$

5 (式中、Xはハロゲン原子を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わ す。)

で示される化合物と、一般式(V-1)

$$H - R^{1-ab}$$
 (V-1)

(式中、 $R^{1-ab}$ は $R^1$ と同じ意味を表わす。ただしOHを表わさず、かつシ T アノ、 $=N-OR^6$ またはそれらを含有する基、およびC 3~10の単環もしくは二環式炭素環、1~4個の窒素原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する 3~10員の単環もしくは二環式複素環は表わさない。)

で示される化合物とを反応させるか、あるいは引き続いて酸化反応に付すか、 15 または一般式 (V-2)

$$R^{1-ac}$$
 (V-2)

(式中、R<sup>1-a</sup>°はC3~10の単環もしくは二環式炭素環、1~4個の窒素 原子、1~2個の酸素原子および/または1~2個の硫黄原子を含有する3 ~10員の単環もしくは二環式複素環を表わす。)で示される化合物とを反 20 応させるか、あるいは引き続いて酸化反応に付すことによって製造すること

ができる。

上記一般式 (IV) と一般式 (V-1) で示される化合物の反応は公知であり、例えば、有機溶媒 (イソプロピルアルコール、トルエン、エタノール、テトラヒドロフラン等) 中あるいは無溶媒で、塩基 (水素化ナトリウム、ナトリウムエトキシド等) の存在下または非存在下、0~200℃で行なわれる。

上記一般式 (IV) と一般式 (V-2) で示される化合物の反応は公知であり、例えば、有機溶媒 (ジメトキシエタン、ジメチルホルムアミド等) 中、触媒 (酢酸パラジウム等) 存在下、ホスフィン化合物 (トリフェニルホスフィン等) を用いて、20℃~還流温度で行なわれる。

酸化反応は、前記と同様の方法で行なわれる。

また、一般式 (I-B) で示される化合物中、 $R^{1-a}$ が  $1\sim 2$  個の  $OR^{6}$ または  $CONR^{4}R^{5}$  で置換されている  $C1\sim 4$  アルキルである化合物、つまり一般式 (I-B-1)

$$\begin{array}{c|cccc}
R^{1-a-1} \\
Y & Z^a \\
V & W \\
R^{3-a}
\end{array}$$
(I-B-1)

15

(式中、 $R^{1-a-1}$ は、 $1\sim 2$ 個のO $R^6$ または $CONR^4R^5$ で置換されている  $C1\sim 4$  アルキルを表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、一般式(I-B-2)

(式中、 $R^{1-a-2}$ は、 $1\sim 2$ 個の $COOR^6$ で置換されている $C1\sim 4$ アルキルを表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を還元反応に付すか、もしくは還元反応に付した後、一般式(VI)

$$X - R^{6-a-2}$$
 (VI)

10

15

(式中、 $R^{6-a-2}$ は、(i)  $C1\sim10$  アルキル、(ii)  $C2\sim10$  アルケニル、(iii)  $C2\sim10$  アルキニル、(iv)  $1\sim5$  個の $R^{18}$  で置換されているかもしくは無置換の $C3\sim15$  の単環もしくは二環式炭素環、(v)  $1\sim5$  個の $R^{18}$  で置換されているかもしくは無置換の $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する  $3\sim15$  員の単環もしくは二環式複素環、または(vi)  $1\sim5$  個の $R^{18}$  で置換されているかもしくは無置換の $C3\sim10$  の単環もしくは二環式炭素環、および $1\sim5$  個の $R^{18}$  で置換されているかもしくは無置換の $1\sim4$  個の窒素原子、 $1\sim2$  個の酸素原子および/または $1\sim2$  個の硫黄原子を含有する $3\sim10$  員の単環もしくは二環式複素環から選ばれる基 $1\sim2$  個で置換されている $C1\sim4$  アルキルを表わす。)で示される化合物と反応させるか、あるいは一般式 (VII)

$$HNR^9R^{10}$$
 (VII)

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物と反応させることにより製造することもできる。

20 還元反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ジエチルエーテル、塩化メチ・

レン、トルエン等)中、還元剤(ジイソプロピルアルミニウムヒドリド等) を用いて、-78~50℃で行なわれる。

一般式 (I-B-2) で示される化合物の還元反応後の一般式 (VI) で示される化合物との反応は公知であり、例えば、有機溶媒 (ジメチルホルムアミド等) 中、塩基 (水素化ナトリウム等) を用いて、0~50℃で行なわれる。

一般式(I-B-2)で示される化合物の還元反応後の一般式(VII)で示される化合物との反応は公知であり、例えば、有機溶媒(メタノール、エタノール、イソプロパノール等)中、 $0\sim100$  で行なわれる。

また、一般式(I-B)中、 $R^1$ が $NR^4R^5$ であり、 $R^4$ および $R^5$ がそれぞれ独立して、 $1\sim5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1\sim15$ アルキルであり、かつ $R^2$ および $R^3$ 中にOH、シアノ、 $=N-OR^{11}$ またはそれらを含有する基を表わさない化合物、すなわち一般式(I-B-3)

$$R^{4b-3}$$
 $N$ 
 $R^{5b-3}$ 
 $Z^a$ 
 $V$ 
 $Z^a$ 
 $V$ 
 $W$ 
 $R^{3-a}$ 

15 (式中、 $R^{4b-3}$ および $R^{5b-3}$ はそれぞれ独立して、 $1\sim 5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1\sim 15$ アルキルであり、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、以下の反応工程式(1)に示す方法によっても製造することができる。

# 反応工程式(1)

反応工程式(1)中、 $R^{4b-6}$ は $1\sim5$ 個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1\sim14$ アルキルを表わし、 $R^{5b-4}$ は $1\sim5$  個の $R^{17}$ で置換されているかもしくは無置換の $C1\sim14$ アルキルを表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。

5

10

アミド化は公知であり、例えば、カルボン酸を有機溶媒(クロロホルム、塩化メチレン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中または無溶媒で、酸ハライド(オキザリルクロライド、チオニルクロライド等)と-20℃~還流温度で反応させ、得られた酸ハライドを三級アミン(ピリジン、トリエチルアミン、ジメチルアニリン、ジメチルアミノピリジン等)の存在下、有機溶媒(クロロホルム、塩化メチレン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中、アミンと0~40℃で反応させることにより行なわれる。この反応は、不活性ガス(アルゴン、窒素等)雰囲気下、無水条件で行なうことが望ましい。

還元反応は公知であり、例えば、有機溶媒(テトラヒドロフラン等)中、 還元剤(ボランジメチルスルフィド錯体、水素化リチウムアルミニウム等) を用いて、0℃~還流温度で行なわれる。

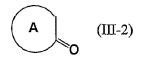
一般式 (I-B-7) は、一般式 (II-2)

$$\begin{array}{cccc} & & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\$$

5

15

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物と、-般式 (III-2)



(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を反10 応させるか、あるいは引き続いて酸化反応に付すことによって製造することができる。

上記一般式( $\Pi-2$ )と一般式( $\Pi-2$ )で示される化合物の反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ベンゼン、トルエン等)中、酸(p-トルエンスルホン酸、またはその水和物等)を用いて、室温~還流温度で行なわれた後、有機溶媒(テトラヒドロフラン等)中、塩基(リチウムジイソプロピルアミド等)を用いて、-10~50 $^{\circ}$ Cで行なわれる。

(C) 一般式(I) 中、R $^2$ およびR $^3$ が表わす基中、少なくとも1個がOH またはそれを含有する基を表わす化合物、つまり一般式(I-C)

$$\begin{array}{c|c}
R^{1-a} \\
Y \longrightarrow Z^{c} \\
X \longrightarrow W \\
R^{3-c}
\end{array}$$
(I-C)

(式中、 $Z^\circ$ 、 $U^\circ$ および $R^{3-c}$ はそれぞれ、Z、Uおよび $R^3$ と同じ意味を表わすが、ただし $Z^\circ$ 、 $U^\circ$ および $R^{3-c}$ が表わす基中、少なくとも1個はOHまたはそれを含有する基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、一般式(I-B)で示される化合物中、 $R^2$ および $R^3$ が表わす基のうち少なくとも1個がメトキシ基またはそれを含有する基である化合物、すなわち一般式(I-B-8)

(式中、Z<sup>b-8</sup>、U<sup>b-8</sup>およびR<sup>3-b-8</sup>はそれぞれ、Z、UおよびR<sup>3</sup>と同じ
 意味を表わすが、ただしZ<sup>b-8</sup>、U<sup>b-8</sup>およびR<sup>3-b-8</sup>が表わす基中、少なくとも1個はメトキシ基またはそれを含有する基を有し、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を、脱メチル化反応に付すことにより製造することができる。

脱メチル化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(塩化メチレン、酢酸エ 15 チル、クロロホルム等)中、ルイス酸(三臭化ホウ素等)を用いて、-80℃ ~80℃で行なわれる。

(D) 一般式 (I) 中、 $R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が表わす基中、少なくとも 1 個が  $=N-OR^6$ または $=N-OR^{11}$ を含有する基を表わす化合物、つまり一般式

(I-D)

$$\begin{array}{c|c} R^{1-d} \\ & \\ X & \\ W \\ & \\ R^{3-d} \end{array} \qquad (I-D)$$

(式中、 $R^{1-d}$ 、 $Z^d$ 、 $U^d$ および $R^{3-d}$ はそれぞれ、 $R^1$ 、Z、Uおよび $R^3$  と同じ意味を表わすが、ただし $R^{1-d}$ 、 $Z^d$ 、 $U^d$ および $R^{3-d}$ が表わす基中、

- 5 少なくとも1個は $=N-OR^6$ または $=N-OR^{11}$ を含有する基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、
  - (1) 一般式 (I-B) で示される化合物中、 $R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が表わす基のうち少なくとも1個が-CH( $O-C1\sim4$ アルキル)  $_2$ 含有する基である化合物、すなわち一般式(I-B-9)

10

15

(2) 一般式 (I-B) で示される化合物中、 $R^{1-a}$  が OH を含有する基である化合物か、もしくは一般式 (I-C) で示される化合物、すなわち一般式

(I - B - 10)

5

15

(式中、 $R^{1-b-10}$ 、 $Z^{b-10}$ 、 $U^{b-10}$ および $R^{3-b-10}$ は、それぞれ $R^1$ 、Z、 Uおよび $R^3$ と同じ意味を表わす。ただし $R^{1-b-10}$ がOHを表わすか、もしくは $Z^{b-10}$ 、 $U^{b-10}$ および $R^{3-b-10}$ が表わす基中、少なくとも1個はOH を含有する基を表わす。その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を酸化反応に付し、引き続いてオキシム化反応に付すことによって製造することができる。

脱アセタール化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(酢酸、ジオキサン 10 等)中、酸(塩酸、硫酸等)を用いて、 $0 \sim 100$   $^{\circ}$   $^{\circ}$  で行なわれる。

酸化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(塩化メチレン等)中、または無溶媒で、塩基(トリエチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン等)存在下、ジメチルスルホキシドおよび三酸化硫黄ピリジン錯体、ジシクロヘキシルカルボジイミド、またはオキザリルクロリド等を用いて、0~50℃で行なわれる。

オキシム化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ピリジン等)中、 $H_2$ N $-O-R^6$ 、または $H_2$ N $-O-R^{11}$ 用いて、 $O\sim5$ 0 $^{\circ}$ で行なわれる。

(E) 一般式(I) 中、 $R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が表わす基中、少なくとも1個はシアノまたはそれを含有する基を含有する基を表わす化合物、つまり一般式 (I-E)

$$\begin{array}{c|c} R^{1-e} \\ & \\ & \\ X \\ & \\ & \\ X^{3-e} \end{array} \qquad (I-E)$$

(式中、 $R^{1-e}$ 、 $Z^e$ 、 $U^e$ および $R^{3-e}$ は、それぞれ $R^1$ 、Z、Uおよび $R^3$  と同じ意味を表わすが、ただし $R^{1-e}$ 、 $Z^e$ 、 $U^e$ および $R^{3-e}$ が表わす基中、少なくとも1個はシアノまたはそれを含有する基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、一般式(I-D)で示される化合物中、 $R^1$ 、 $R^2$ および $R^3$ が表わす基のうち少なくとも1個が=N-OHを含有する基を表わす化合物、つまり一般式(I-D-1)

5

(式中、 $R^{1-d-1}$ 、 $Z^{d-1}$ 、 $U^{d-1}$ および $R^{3-d-1}$ は、それぞれ $R^1$ 、Z、U 10 および $R^3$ と同じ意味を表わすが、ただし $R^{1-d-1}$ 、 $Z^{d-1}$ 、 $U^{d-1}$ および $R^3$   $^{-d-1}$ が表わす基中、少なくとも1個は=N-OHを含有する基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を脱水反応に付すことにより製造することができる。

脱水反応は公知であり、例えば、有機溶媒(塩化メチレン等)中、塩基(ト 15 リエチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン等)存在下、トリフルオロメ タンスルホン酸無水物、またはクロロギ酸トリクロロメチル等を用いて、0 ~50℃で行なわれる。

また、一般式(IV)で示される化合物は、一般式(I-A)で示される化

合物をハロゲン化反応に付すことによって製造することができる。

その他の出発原料である一般式(II)、(III)、(V)、(VI)および(VII)で示される化合物は、それ自体公知であるか、または公知の方法に従って製造することができる。例えば、一般式(II)で示される化合物のうち、

$$\begin{array}{c|c} & H \\ & N \\ & R^{2-a} \end{array}$$

5

20

(式中、 $R^{2-\alpha}$ は $R^2$ と同じ意味を表わすが、OH、シアノ、 $=N-OR^{11}$ またはそれらを含有する基は表わさず、 $R^{3-\alpha}$ は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、一般式(VIII)

$$\begin{array}{c}
O\\
R^{2-a}
\end{array}$$
(VIII)

10 (式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物と、 ヒドラジンを反応させることにより製造される。また、一般式 (III) で示さ れる化合物のうち、シクロペンタノンー 2 ーカルボン酸エチルエステルは市 販されている。また、一般式 (VI) で示される化合物のうち、1ーシアノー 1ー(2ーメチルー4ーメトキシフェニル)プロパンー2ーオンは、Bioorganic 8 Med. Chem., 8, 181-189 (2000)に記載されている。

また、本発明中における他の出発物質および各試薬は、それ自体公知であるかまたは公知の方法に従って製造することができる。

本明細書中の各反応において、反応生成物は通常の精製手段、例えば、常 圧下または減圧下における蒸留、シリカゲルまたはケイ酸マグネシウムを用 いた高速液体クロマトグラフィー、薄層クロマトグラフィー、あるいはカラ ムクロマトグラフィーまたは洗浄、再結晶等の方法により精製することがで

きる。精製は各反応ごとに行なってもよいし、いくつかの反応終了後に行なってもよい。

#### 図面の簡単な説明

5 図1は、本発明化合物を1、3、10および30mg/kg投与したラットのオープンアームにおける滞在時間を示すグラフである。

図2は、本発明化合物を1、3、10および30mg/kg投与したラットがオープンアームに入る回数を示すグラフである。

# 10 [本発明化合物の薬理活性]

一般式(I)で示される本発明化合物がCRF受容体拮抗活性を有することは、以下の実験で確認された。

(1) バインディングアッセイ

#### 「膜調製」

15 ヒトCRF受容体1型強制発現細胞株(親株はCHO-K1細胞)をコンフレントになるまで培養した後、スクレイパーを用いて回収した。回収した細胞をPBSで2回洗浄した後、氷冷したバインディングアッセイ緩衝液(Tris-HC1(50mM、pH7.0)、EDTA(2mM、pH8.0)、MgC12(10mM))で懸濁した。懸濁した細胞をダウンス型のホモジナイザーを用いて破砕した後、10000gで遠心し、膜画分を回収した。回収した膜画分を少量のバインディングアッセイ緩衝液で再懸濁した後、濃度が1mg/m1になるようバインディングアッセイ緩衝液で希釈した。以上を膜画分としてバインディングアッセイに用いた。

## [バインディングアッセイ]

25  $^{125}$  I - C R F  $\pm$  0.5 n M になるようにバインディングアッセイ緩衝液で希釈し、シリコナイズした 1.5 m 1 チューブに 5 0  $\mu$  L 加えた。次に適当倍希釈

した被検薬、DMSO (バインディング用)、または $100\mu$  MのCRF (非特異的用)を $1\mu$  Lチューブに加えた。最後に $50\mu$  Lの膜画分を加え、反応を開始させた ( $^{125}$  I - CRFの最終濃度は0.25 n M)。チューブを室温で2時間インキュベートした。反応終了後、膜画分を回収するため15000 r pmで遠心した後、上清を捨て、氷冷したPBS/0.01% Triton X-100で2回洗浄した。膜結合カウントは、ガンマカウンターを用いて測定した。

特異的結合は、測定カウントから非特異的結合のカウントを引いて求めた。 その結果、本発明化合物は強い受容体結合活性( $IC_{50}$ 値 $<1~\mu$ M)を有することがわかった。

10 (2) 高架式十字迷路による抗不安活性

床面より50 c mの高さに、同じ長さ( $50 \times 10$  c m)の2 本のオープンアームと、同じ長さ( $50 \times 10$  c m)の2 本のクローズアーム(40 c mの壁を設置)を互いに直角に交差するように設置し、高架式十字迷路装置とした。照明は両方のオープンアームにおける照度を一定にするように設置した。

評価の30分前に種々濃度の被検薬(5m1/kg)を経口投与したSD系雄性ラットを装置の中心部に静置し、オープンアームにおける滞在時間(秒)および各アームに入る回数を5分間計測した。実験者は評価時間中、定位置にて計測した。

20 結果を図1~2に示す。

図1および2より、本発明の実施例2(78)の化合物は、投与量3および10mg/kgにおいて、有意な滞在時間延長および進入回数の増加が見られる。つまり、有意な抗不安作用が認められた。

[毒性]

15

25 本発明化合物の毒性は十分に低いものであり、医薬品として使用するため に十分安全であることが確認された。

## 産業上の利用可能性

## 「医薬品への適用〕

25

一般式(I)で示される本発明化合物は、CRF受容体拮抗作用を有する ため、CRFの分泌異常によって引き起こされる疾患、例えばストレス関連 疾患を含む多様な障害または疾病に有効である。例えば、うつ病、単一エピ ソードうつ病、再発性うつ病、分娩後うつ病、小児虐待誘発性うつ病、不安 症、不安障害(パニック障害、特定の恐怖症、高所恐怖症、社会恐怖、強迫 性障害)、感情障害、双極性障害、心的外傷後ストレス(PTSD)、消化 性潰瘍、下痢、便秘、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クロ 10 一ン病)、ストレスに伴う胃腸機能障害、神経性嘔吐、摂食異常(神経性食 欲不振、過食症)、肥満症、ストレス誘発性睡眠障害、繊維筋痛性睡眠障害、 ストレス誘導性免疫抑制、ストレス誘発性頭痛、ストレス誘発性熱、ストレ ス誘発性疼痛、手術襲撃ストレス、慢性関節リウマチ、変形性骨関節症、骨 粗鬆症、乾癬、甲状腺機能障害症候群、ブドウ膜炎、喘息、不適切な抗下痢 15 ホルモンに基づく症状、疼痛、炎症、アレルギー性疾患、頭部損傷、脊髄損 傷、虚血性ニューロン損傷、分泌毒性ニューロン損傷、クッシング病、発作、 痙攣、筋痙攣、てんかん虚血性疾患、パーキンソン病、ハンティングトン病、 尿失禁、アルツハイマー病、アルツハイマー型老人性痴呆、多梗塞性痴呆症、 20 筋萎縮性側索硬化症、低血糖症、心血管または心臓関連疾患(高血圧、頻脈、 うっ血性心不全)、薬物またはアルコールの禁断症状等の疾患の予防および /または治療剤として有用である。

一般式(I)で示される本発明化合物、その非毒性の塩、酸付加塩、またはその水和物を上記の目的で用いるには、通常、全身的または局所的に、経口または非経口の形で投与される。

投与量は、年齢、体重、症状、治療効果、投与方法、処理時間等により異

なるが、通常、成人一人あたり、1回につき、1mgから1000mgの範囲で、1日1回から数回経口投与されるか、または成人一人あたり、1回につき、0.1mgから100mgの範囲で、1日1回から数回非経口投与(好ましくは、静脈内投与)されるか、または1日1時間から24時間の範囲で静脈内に持続投与される。

もちろん前記したように、投与量は種々の条件によって変動するので、上 記投与量より少ない量で十分な場合もあるし、また範囲を越えて必要な場合 もある。

本発明化合物を投与する際には、経口投与のための内服用固形剤、内服用 10 液剤および、非経口投与のための注射剤、外用剤、坐剤等として用いられる。 経口投与のための内服用固形剤には、錠剤、丸剤、カプセル剤、散剤、顆 粒剤等が含まれる。カプセル剤には、ハードカプセルおよびソフトカプセル が含まれる。

このような内服用固形剤においては、ひとつまたはそれ以上の活性物質は そのままか、または賦形剤(ラクトース、マンニトール、グルコース、微結 晶セルロース、デンプン等)、結合剤(ヒドロキシプロピルセルロース、ポリビニルピロリドン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム等)、崩壊剤(繊維素グリコール酸カルシウム等)、滑沢剤(ステアリン酸マグネシウム等)、安定剤、溶解補助剤(グルタミン酸、アスパラギン酸等)等と混合され、常 20 法に従って製剤化して用いられる。また、必要によりコーティング剤(白糖、ゼラチン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート等)で被覆していてもよいし、また2以上の層で被覆していてもよい。さらにゼラチンのような吸収されうる物質のカプセルも包含される。

25 経口投与のための内服用液剤は、薬剤的に許容される水剤、懸濁剤、乳剤、 シロップ剤、エリキシル剤等を含む。このような液剤においては、ひとつま

たはそれ以上の活性物質が、一般的に用いられる希釈剤(精製水、エタノールまたはそれらの混液等)に溶解、懸濁または乳化される。さらにこの液剤は、湿潤剤、懸濁化剤、乳化剤、甘味剤、風味剤、芳香剤、保存剤、緩衝剤等を含有していてもよい。

5 非経口投与のための注射剤としては、溶液、懸濁液、乳濁液および用時溶剤に溶解または懸濁して用いる固形の注射剤を包含する。注射剤は、ひとつまたはそれ以上の活性物質を溶剤に溶解、懸濁または乳化させて用いられる。溶剤として、例えば注射用蒸留水、生理食塩水、植物油、プロピレングリコール、ポリエチレングリコール、エタノールのようなアルコール類等および10 それらの組み合わせが用いられる。さらにこの注射剤は、安定剤、溶解補助剤(グルタミン酸、アスパラギン酸、ポリソルベート80(登録商標)等)、懸濁化剤、乳化剤、無痛化剤、緩衝剤、保存剤等を含んでいてもよい。これらは最終工程において滅菌するか無菌操作法によって製造、調製される。また無菌の固形剤、例えば凍結乾燥品を製造し、その使用前に無菌化または無菌の注射用蒸留水または他の溶剤に溶解して使用することもできる。

非経口投与のためのその他の製剤としては、ひとつまたはそれ以上の活性 物質を含み、常法により処方される外用液剤、軟膏剤、塗布剤、吸入剤、ス プレー剤、坐剤および膣内投与のためのペッサリー等が含まれる。

スプレー剤は、一般的に用いられる希釈剤以外に亜硫酸水素ナトリウムの 20 ような安定剤と等張性を与えるような緩衝剤、例えば塩化ナトリウム、クエン酸ナトリウムあるいはクエン酸のような等張剤を含有していてもよい。スプレー剤の製造方法は、例えば米国特許第 2,868,691 号および同第 3,095,355 号に詳しく記載されている。

## 25 発明を実施するための最良の形態

以下、参考例および実施例によって本発明を詳述するが、本発明はこれら

に限定されるものではない。

クロマトグラフィーによる分離の箇所およびTLCに示されるカッコ内の 溶媒は、使用した溶出溶媒または展開溶媒を示し、割合は体積比を表わす。

NMRの箇所に示されているカッコ内の溶媒は、測定に使用した溶媒を示 している。

## 参考例1

2-メチル-4-メトキシフェニルアセトニトリル

- アルゴン気流下、1,2ージメチルー4ーメトキシベンゼン(13.6g)の四塩化炭素(200m1)溶液に、Nーブロモスクシイミド(17.8g)および2,2'ーアゾビスイソブチロニトリル(492mg)の混合物を加え、6.5時間還流した。反応混合物を氷冷し、不溶物をセライトろ過し、四塩化炭素で洗浄した。ろ液を併せて濃縮した。残渣をN,Nージメチルホルムアミド(100m1)に溶解し、シアン化ナトリウム(9.86g)を加え、室温で一晩撹拌した。反応混合物を水に注ぎ、ジエチルエーテルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、濃縮した。残渣をシリカゲルのカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:nーヘキサン=1:6→1:4)で精製して、以下の物性値を有する標題化合物(11.78g)を得た。
- 20 TLC: Rf 0.20 (nーヘキサン: 酢酸エチル=9:1);
  NMR(300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.24 (d, J=8.0Hz, 1H), 6.78-6.72 (m, 2H), 3.79 (s, 3H), 3.60 (s, 2H), 2.32 (s, 3H)。

## 参考例2

1ーシアノー1ー(2ーメチルー4ーメトキシフェニル)プロパンー2ーオン

アルゴン気流下、参考例1で製造した化合物(11.7g)の酢酸エチル(60 m 1)溶液に、金属ナトリウム(2.3g)を数回に分けて加え、50  $\mathbb C$  で 2 時間撹拌した。反応溶液に酢酸エチル(40 m 1)を加え、2.5 時間還流し、さらに室温で一晩撹拌した。析出物をろ取し、ジエチルエーテルで洗浄し、得られた結晶を水(300 m 1)に溶解した。2 N 塩酸でp H 4 とし、酢酸エチルで抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮して、以下の物性値を有する標題化合物(12.06g)を得た。

## 参考例3

15

20

2-クロロー4-メトキシボロン酸

3-クロロー4-ブロモアニソール(2.14g)の無水テトラヒドロフラン(10m1)溶液を-78  $\mathbb{C}$ に冷却し、1.56Mのn-ブチルリチウム/ヘキサン(6.5m1)溶液を滴下し、30分間撹拌した。反応混合物に、ホウ酸トリイソプロピル(2.3m1)を滴下し、-78  $\mathbb{C}$   $\mathbb{C}$  で 2 時間撹拌した。反応混合物に飽和塩化アンモニウム水溶液を注ぎ、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮した。得られた固体を

t-ブチルメチルエーテル (4m1) で洗浄し、ろ過後、乾燥して、以下の物性値を有する標題化合物 (681mg) を得た。

TLC:Rf 0.55(塩化メチレン:メタノール=19:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>) :  $\delta$  7.22 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.93 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.86 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 3.79 (s, 3H)<sub>0</sub>

## 参考例4

4-(2-クロロ-4-メトキシフェニル)-5-メチルイソキサゾール

10 参考例 3 で製造した化合物(6 4 4 m g)、4 ーヨードー 5 ーメチルイソキサゾール(6 5 8 m g)、および炭酸水素ナトリウム(7 9 1 m g)のジメトキシエタン(2.5 m 1)/水(2.5 m 1)懸濁液に、テトラキストリフェニルホスフィンパラジウム(3 6 m g)を加え、80℃で16時間撹拌した。反応混合物を室温に冷却し、水および酢酸エチルを加え、不溶物をろ過して15 除去した。ろ液の有機層を分離し、飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮した。残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(n ーヘキサン:酢酸エチル=19:1→15:1)で精製し、以下の物性値を有する標題化合物(6 3 7 m g)を得た。

 $TLC:Rf 0.44(n-\alpha++++):m酸エチル=3:1);$ 

20 NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  8.29 (brs, 1H), 7.16 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.04 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.87 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 3.84 (s, 3H), 2.41 (brs, 3H)<sub>o</sub>

## 参考例5

1-シアノ-1-(2-クロロー4-メトキシフェニル)プロパン-2-オ ン

参考例4で製造した化合物(623mg)のメタノール(2.8ml)溶液に、 5 1.5Mナトリウムメトキシド/メタノール溶液(2.8m1)を加え、室温で4時 間撹拌した。反応混合物を水で希釈し、ヘキサン/tーブチルメチルエーテ ル (10m1;1/1) で洗浄した。水層に4N塩酸 (1m1) を加えて、 pH5とし、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和炭酸水素ナトリウム水溶 液、および飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥後、濃縮して、

以下の物性値を有する標題化合物(497mg)を得た。 

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.38 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.00 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.89 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 5.11 (s, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.29 (s, 3H)

#### 参考例 6 15

10

5-アミノー3-メチルー4-(2-メチルー4-メトキシフェニル)ピラ ゾール

参考例2で製造した化合物(8.63g)のトルエン(200m1)溶液に、酢

酸(8.0m1) およびヒドラジン・1水和物(4.5m1) を加えた。反応混合物を5.5時間還流し、さらに室温で一晩撹拌した。反応溶液を濃縮し、残渣に6 N塩酸を加え、酢酸エチル/nーヘキサン(30m1/30m1)で抽出した。水層を濃アンモニア水で塩基性にし、酢酸エチルで抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮して以下の物性値を有する標題化合物(8.38g)を得た。

TLC:Rf 0.30 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.08 (d, J = 8.0Hz, 1H), 6.84 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.0, 2.5Hz, 1H), 4.10 (br s, 3H), 3.83 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.07 (s, 3H)<sub>o</sub>

10

## 実施例1

8ーヒドロキシー 2 ーメチルー 3 ー(2 ーメチルー 4 ーメトキシフェニル) ー 6 , 7 ージヒドロー 5 H ーシクロペンタ [d] ピラゾロ [1 , 5 ー a] ピリミジン

15

20

参考例 6 で製造した化合物(500 mg)の酢酸(3 m 1)溶液に、シクロペンタノンー 2 ーカルボン酸エチルエステル(0.40 m 1)を加え、3 時間還流した。反応溶液を室温に冷却後、ジエチルエーテル/n ー n ー n +

NMR (300MHz, DMSO- $d_6$ ):  $\delta$  11.90 (br s, 1H), 7.10 (d, J = 8.0Hz, 1H), 6.93 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 8.0, 3.0Hz, 1H), 3.78 (s, 3H), 2.81 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.66 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.07 (s, 3H), 2.05 (s, 3H), 2.03 (m, 2H).

5

# 参考例7

8-クロロー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロー5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10

15

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.88 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.09-3.00 (m, 4H), 2.40 (s, 3H), 2.23 (m, 2H),

2.15 (s, 3H).

# <u>実施例2</u>

参考例 7 で製造した化合物(150mg)、および 3-ペンチルアミン(0.6m1)の混合物を140  $\mathbb{C}$  で 1 時間撹拌した。反応混合物を冷却後、シリカゲルのカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル: $n-\wedge$ キサン=1:3)で精製して、以下の物性値を有する標題化合物(169mg)を得た。

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.85 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 8.5, 3.0Hz, 1H), 6.21 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.0Hz, 2H), 2.89 (t, J = 8.0Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.14 (m, 2H), 1.69 (m 4H), 1.02 (m, 6H)<sub>o</sub>

# 実施例2<u>(1)</u>~2(365)

1,2ージメチルー4ーメトキシベンゼンの代わりに、相当する化合物を

用いて、参考例 $1 \rightarrow$ 参考例 $2 \rightarrow$ 参考例 $6 \rightarrow$ 実施例1(シクロペンタノン-2 ーカルボン酸エチルエステルの代わりに、相当する化合物を用いる。) $\rightarrow$ 参 考例 $7 \rightarrow$ 実施例2(3 -ペンチルアミンの代わりに、相当する化合物を用いる。)と同様の操作をするか、あるいは参考例5で製造した化合物またはこれに相当する化合物を用いて、参考例 $6 \rightarrow$ 実施例 $1 \rightarrow$ 参考例 $7 \rightarrow$ 実施例2と同様の操作をするか、またそれらに続いて公知の塩にする操作を行うことによって、以下の化合物を得た。

# 実施例2 (1)

5

TLC: R f 0.43 (n - ヘキサン: 酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.22 (d, J = 8.7Hz, 1 H), 6.84 (d, J = 2.7Hz, 1 H), 6.77 (dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1 H), 4.49 (m, 2 H), 3.81 (s, 3 H), 3.67 (q, J = 7.2Hz, 2 H), 3.61 (t, J = 7.2Hz, 2 H), 3.33 (s, 3 H), 2.97 (t, J = 7.2Hz, 2 H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2 H), 2.19 (s, 3 H), 2.13 (m, 2 H), 1.55 (m, 2 H), 1.35 (m, 2 H), 1.17 (t, J = 7.2Hz, 3 H), 0.89 (t, J = 7.2Hz, 3 H)<sub>o</sub>

20

# 実施例2(2)

 $8-(N-\mathcal{I}^2 \square \mathcal{I}^2 \mathcal{N}-N-(2-\mathcal{I}^2 \square \mathcal{I}^2 \mathcal{I}^2 \mathcal{I})$   $-2-\mathcal{I}^2 \mathcal{I}^2 \mathcal{I}$   $-3-(2-\mathcal{I}^2 \mathcal{I}^2 \mathcal{I}^$ 

5

10

TLC:Rf 0.80 (n- + + ): 酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>) :  $\delta$  7.14 (d, J = 8.4Hz, 1 H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1 H), 6.79 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1 H), 3.90 (t, J = 4.8Hz, 2 H), 3.83 (s, 3 H), 3.64 (m, 2 H), 3.43 (m, 2 H), 2.98 (t, J = 7.2Hz, 2 H), 2.92 (t, J = 7.8Hz, 2 H), 2.31 (s, 3 H), 2.17 (s, 3 H), 2.15 (m, 2 H), 1.58 (m, 2 H), 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3 H)<sub>o</sub>

# 実施例2(3)

 $8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -5, 7-ジヒドローチエノ <math>\begin{bmatrix} 3, 4-d \end{bmatrix}$  ピラゾロ  $\begin{bmatrix} 1, 5 \end{bmatrix}$  -a  $\end{bmatrix}$  ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 6.44 (d, J = 10.0Hz, 1H), 4.32 (br s, 2H), 4.14 (br s, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.76 (m, 1H), 2.32 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 1.84-1.57 (m 4H), 1.03 (t, J = 7.0Hz, 6H)<sub>o</sub>

# 実施例2(4)

9 - (3 -ペンチルアミノ) -6 -メチル-5 - (2 -メチル-4 -メトキ 10 シフェニル) -2, 3 -ジヒドロ-チエノ [3, 2 - d] ピラゾロ [1, 5 -a] ピリミジン

TLC:Rf 0.40 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.85 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.5, 3.0Hz, 1H), 6.17 (d, J = 10.0Hz, 1H), 3.99 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.36-3.20 (m. 4H), 2.30 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 1.82-1.56 (m 4H), 1.03 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

# 5 実施例2(5)

10 TLC: Rf 0.33 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 6.32 (d, J = 10.0Hz, 1H), 5.29 (s, 2H), 4.90 (br s, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.24 (m, 1H), 2.33 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 1.84-1.56 (m 4H), 1.02 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

15

# <u>実施例2 (6)</u>

9 - (3 -ペンチルアミノ) -6 -メチル-5 - (2 -メチル-4 -メトキシフェニル) -2, 3 -ジヒドローフロ [3, 2 - d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン

TLC:Rf 0.43 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.31 (brs, 1H), 7.12 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.76 (t, J = 9.0Hz, 2H), 4.30 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.74 (t, J = 9.0Hz, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 1.90-1.70 (m, 4H), 1.04 (m, 6H)<sub>o</sub>

# 実施例2 (7)

9-(3-ペンチルアミノ)-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキ 10 シフェニル)-5,6,7,8-テトラヒドローピラゾロ[3,2-b]キ ナゾリン・塩酸塩

TLC:Rf 0.45 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  13.04 (br s, 1H), 7.91 (br s, 1H), 7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.96 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.87 (dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 5.65 (br s, 1H), 3.79 (s, 3H), 2.75 (m, 2H), 2.58 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 2.05 (s, 3H), 1.88-1.64(m, 8H), 0.91 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>0</sub>

5

# <u>実施例2(8)</u>

6-メチルー5-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-9-[(2S, 4R) -4-メトキシー2-メトキシメチルピロリジン-1-イル] -2, 3-ジヒドローフロ[3, 2-d] ピラゾロ[1, 5-a] ピリミジン

10

15

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>):  $\delta$  7.09 (d, J = 7.5Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 7.5, 2.4Hz, 1H), 5.07 (brs, 1H), 4.66 (dt, J = 9.0, 9.0Hz, 1H), 4.56 (dt, J = 9.0, 9.0Hz, 1H), 4.24 (dd, J = 12.6, 3.6Hz, 1H), 4.05 (brs, 1H), 3.85 (d, J = 12.6Hz, 1H), 3.77 (s, 3H), 3.42 (dd, J = 10.2, 3.9Hz, 1H), 3.33 (dd, J = 10.2, 5.1Hz, 1H), 3.22 (dd, J = 9.0, 9.0Hz, 2H), 3.21 (s, 3H), 3.18 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.07 (s, 3H), 2.30-1.95 (m, 2H)<sub>0</sub>

# 実施例2(9)

9-(3-ペンチルアミノ) -6-メチル-5-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -2, <math>3-ジヒドローピロロ [3, 2-d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

5 TLC:Rf 0.37 (n-ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.16 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 5.86 (d, J = 10.5Hz, 1H), 4.07 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.58 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.06 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 1.52-1.82 (m, 4H), 1.01 (m, 6H)<sub>o</sub>

10

# 実施例2(10)

2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-8-[(2S, 4R) -4-メトキシ-2-メトキシメチルピロリジン-1-イル] -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジ

15 ン・塩酸塩

TLC:Rf 0.30 (n-ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 and 7.07 (d, J = 8.4Hz, two comformers, 1H), 6.89 and 6.87 (d, J = 2.7Hz, two comformers, 1H), 6.83 and 6.80 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, two comformers, 1H), 5.65 (brs, 1H), 4.32-4.10 (m, 3H), 3.82 (s, 3H), 3.50-3.40 (m, 4H), 3.367 and 3.361 (s, two comformers, 3H), 3.29 and 3.28 (s, two comformers, 3H), 3.23-2.99 (m, 2H), 2.42 (m, 1H), 2.30-2.10 (m, 3H), 2.245 and 2.240 (s, two comformers, 3H), 2.22 and 2.14 (s, two comformers, 3H)<sub>o</sub>

# 10 実施例2(11)

2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-8-[(2S, 4R) -4-メトキシー2-メトキシメチルピロリジン-1-イル] -5, 7-ジヒドローフロ[3, 4-d] ピラゾロ[1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

T L C: R f 0.22 (nーヘキサン: 酢酸エチル=1:1); (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>) 7.10 (brs, 1H), 6.89 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.1, 2.4Hz, 1H), 5.33 (d, J = 10.8Hz, 1H), 5.25 (brs, 1H), 5.15 (d, J = 10.8Hz, 1H), 4.85 (d, J = 14.4Hz, 1H), 4.75 (d, J = 14.4Hz, 1H), 4.10-3.85 (m, 3H), 3.77 (s, 3H), 3.39 (dd, J = 9.9, 4.5Hz, 1H), 3.28 (dd, J = 9.9, 5.1Hz, 1H), 3.22 (s, 3H), 3.15 (s, 3H), 2.25 (m, 1H), 2.21 (s, 3H), 2.15-2.00 (m, 4H)。

# <u>実施例2(12)</u>

5

10 6-メチル-5-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-9-[(2S, 4R)-4-メトキシ-2-メトキシメチルピロリジン-1-イル]-2, 3-ジヒドローピロロ[3, 2-d]ピラゾロ[1, 5-a]ピリミジン

TLC:Rf 0.43 (クロロホルム:メタノール=20:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.16 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 4.71 (m, 1H), 4.20 (m, 1H), 4.06 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.60 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.54 (m, 1H), 3.48 (dd, J = 4.5, 9.6Hz, 1H), 3.39 (m, 1H), 3.34 (s, 3H), 3.28 (s, 3H), 3.09 (m, 2H), 2.24-2.40 (m, 4H), 2.18 (s, 3H), 2.01 (m, 1H)<sub>o</sub>

# 実施例2(13)

5

8- イソプロピルアミノー 2- メチルー 3- (2- メチルー 4- メトキシフェニル) -5 ,7- ジヒドローフロ [3 ,4- d ] ピラゾロ [1 ,5-a ] 10 ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 6.39 (d, J = 9.6Hz, 1H), 5.32 (s, 2H), 4.90 (s, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.74 (m, 1H), 2.32 (s, 3H), 2.16 (s, 3H), 1.41 (d, J = 6.6Hz, 6H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (14)

15

20

8- [(2S) -1, 1-ジメトキシブタン-2-4ル] アミノ-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -5,  $7-\widetilde{y}$ ヒドローフロ [3, 4-d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.26 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.1, 2.4Hz, 1H), 6.57 (brd, J = 11.1Hz, 1H), 5.36 (d, J = 9.9Hz, 1H), 5.26 (d, J = 9.9Hz, 1H), 4.90 (s, 2H), 4.33 (d, J = 3.9Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.50 (s, 3H), 3.48 (s, 3H), 3.39 (m, 1H), 2.32 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 1.88 (m, 1H), 1.68 (m, 1H), 1.04 (brs, 3H)<sub>0</sub>

# 実施例2 (15)

10 8- [(2S) -1, 1-ジメトキシブタン-2-イル] アミノ-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H -シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.1, 3.0Hz, 1H), 6.47 (brd, J = 11.8Hz, 1H), 4.34 (brs, 1H), 4.01 (m, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.49 (s, 6H), 3.19-3.00 (m, 2H), 2.89 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.86 (m, 1H), 1.65 (m, 1H), 1.04 (brs, 3H)<sub>0</sub>

### 実施例2(16)

8- (1, 3-ジメトキシプロパン-2-イル) アミノ-2-メチル-3- (2-メチル-4-メトキシフェニル) -5, 7-ジヒドローフロ [3, 4 -d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC: Rf 0.42 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.14 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.87 (brd, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.1, 2.4Hz, 1H), 5.33 (s, 2H), 4.89 (s, 2H), 3.81 (s, 3H), 3.75 (m, 1H), 3.62 (d, J = 4.8Hz, 4H), 3.42 (s, 6H), 2.33 (s, 3H), 2.16 (s, 3H)<sub>o</sub>

### 実施例2 (17)

15

8-ビス (2-メトキシエチル) アミノー2-メチルー3- (2-メチルー4-メトキシフェニル) -5, 7-ジヒドローフロ [3, 4-d] ピラゾロ

[1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 5.22 (s, 2H), 4.89 (s, 2H), 3.88 (t, J = 6.0Hz, 4H), 3.82 (s, 3H), 3.55 (t, J = 6.0Hz, 4H), 3.30 (s, 6H), 2.33 (s, 3H), 2.16 (s, 3H)<sub> $\circ$ </sub>

# 実施例2 (18)

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.01 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.72 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.64

(dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 6.60 (d, J = 9.9Hz, 1H), 4.14 (m, 1H), 3.69 (s, 3H), 3.50 (d, J = 5.4Hz, 4H), 3.30 (s, 6H), 2.99 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.76 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.18 (s, 3H), 2.04 (s, 3H), 2.01 (m, 2H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(19)

8-ビス(2-メトキシエチル)アミノー2-メチルー3-(2-メチルー 4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

10 TLC: Rf 0.41 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.88 (t, J = 5.7Hz, 4H), 3.82 (s, 3H), 3.52 (t, J = 5.7Hz, 4H), 3.30 (s, 6H), 3.00 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.14 (m, 2H)<sub>o</sub>

15

### <u>実施例2(20)</u>

TLC:Rf 0.44  $(n-\wedge + + + ):$  酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>): δ 8.71 (br s, 1H), 7.15 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.93 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.85 (dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 5.70 (br s, 1H), 5.25 (dd, J = 10.0, 2.0Hz, 1H), 5.17 (d, J = 10.0Hz, 1H), 5.11 (m, 1H), 3.79 (s, 3H), 3.26 (m, 1H), 2.26 (s, 3H), 2.10 (s, 3H), 1.83-1.57 (m 4H), 1.41 (d, J = 5.5Hz, 3H), 0.93-0.83 (m, 6H)<sub>0</sub>

### <u>実施例2(21)</u>

8 -(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2,4-ジクロロフェニ 10 ル) -6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.50 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.50 (d, J = 2.0Hz, 1H), 7.35 (d, J = 8.5Hz, 1H), 7.29 (dd, J = 8.5, 2.0Hz, 1H), 6.23 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.81 (m, 1H), 3.09 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.15 (m, 2H), 1.82-1.55 (m 4H), 1.01 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

5

### 実施例2(22)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -5, <math>7-ジヒドローピロロ [3, 4-d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10

TLC:Rf 0.48 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.16 (d, J = 8.1H, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.7, 8.1Hz, 1H), 6.29 (d, J = 10.2Hz, 1H), 4.43 (s, 2H), 4.10 (s, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.49 (m, 1H), 2.32 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 1.55-1.84 (m, 4H), 1.02 (m, 6H)<sub>0</sub>

15

#### 実施例2(23)

8-ジエチルアミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロー5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.67 (n-ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.16 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.66 (q, J = 7.2Hz, 4H), 2.99 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.33 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.18 (t, J = 7.2Hz, 6H)<sub>0</sub>

### 実施例2(24)

TLC:Rf 0.78 (n-ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.17 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.4, 3.0Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.70-3.56 (m, 4H), 2.97 (t, J = 6.9Hz, 2H),

2.91 (t, J = 7.7Hz, 2H), 2.33 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.55 (m, 2H), 1.32 (m, 2H), 1.17 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.90 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

### <u>実施例2(25)</u>

5 8 -  $\frac{3}{2}$   $\frac{3}{2}$   $\frac{1}{2}$   $\frac{1}{2}$   $\frac{3}{2}$   $\frac{3}{$ 

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.36 (d, J = 10.2Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.41 (m, 1H), 3.01 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.87 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.10 (m, 2H), 1.20-1.08 (m, 2H), 0.66-0.32 (m, 8H)<sub>o</sub>

# 15 実施例2(26)

8 - (N -  $\mathcal{D}$  -  $\mathcal{D}$  - N -

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>) :  $\delta$  7.14 (d, J = 8.4Hz, 1 H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1 H), 6.80 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1 H), 6.54 (brs, 1 H), 5.21 (s, 2 H), 4.89 (s, 2 H), 3.96 (brt, J = 4.8Hz, 2 H), 3.83 (s, 3 H), 3.80 (m, 2 H), 3.29 (t, J = 7.5Hz, 2 H), 2.33 (s, 3 H), 2.17 (s, 3 H), 1.63 (m, 2 H), 1.00 (t, J = 7.5Hz, 3 H)<sub>o</sub>

### 実施例2(27)

8 -  $(3-\mathcal{C} \cup \mathcal{F} \cup \mathcal{F} \cup \mathcal{F})$  -  $2-\mathcal{F} \cup \mathcal{F} \cup \mathcal{F}$  -  $3-(2-\mathcal{F} \cup \mathcal{F})$  - 4 10 -  $\mathcal{F} \cup \mathcal{F} \cup \mathcal{F}$  - 4 -

TLC:Rf 0.27 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.19 (d, J = 8.5Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.5Hz, 1H), 6.78

(dd, J = 8.5, 2.5Hz, 1H), 6.32 (d, J = 10.5Hz, 1H), 4.54-4.40 (m, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 3.37 (s, 3H), 3.10 (t, J = 7.0Hz, 2H), 2.91 (t, J = 8.0Hz, 2H), 2.20 (s, 3H), 2.14 (m, 2H), 1.80-1.53 (m, 4H), 1.08-0.94 (m, 6H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(28)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(1, 3-ジオキサインダン-5-イル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10 TLC: Rf 0.61 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.22 (d, J = 1.5Hz, 1H), 7.10 (dd, J = 1.5, 8.1Hz, 1H), 6.89 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.20 (br d, J = 10.5Hz, 1H), 5.96 (s, 2H), 3.80 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.94 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.52 (s, 3H), 2.15 (m, 2H), 1.51-1.80 (m, 4H), 1.00 (t, J = 7.5Hz, 6H).

15

### 実施例2 (29)

 $8-(3-\mathcal{C})$   $-2-\mathcal{C}$   $+2\mathcal{C}$   $+2\mathcal{$ 

TLC:Rf 0.56 (n-ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.29 (d, J = 2.1Hz, 1H), 7.19 (dd, J = 2.1, 8.1Hz, 1H), 6.96 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.20 (br d, J = 10.5Hz, 1H), 3.93 (s, 3H), 3.91 (s, 3H), 3.80 (m,1H), 3.09 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.94 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.55 (s, 3H), 2.16 (m, 2H), 1.53-1.81 (m, 4H), 1.00 (t, J = 7.2Hz, 6H)<sub>o</sub>

# 実施例2 (30)

8-シクロプロピルアミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシ 2-0 フェニル)2-5, 2-0 アニーフロ 2-0 アニーフロ

TLC:Rf 0.33 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:2);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.14 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79

(dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.62 (brs, 1H), 5.54 (brs, 2H), 4.91 (brs, 2H), 3.82 (s, 3H), 2.89 (m, 1H), 2.30 (s, 3H), 2.15 (s, 3H), 0.98-0.84 (m, 4H)<sub>o</sub>

### 実施例2(31)

5 8-  $(3-\mathcal{C})$   $-2-\mathcal{D}$   $-2-\mathcal{D}$   $-2-\mathcal{D}$   $-3-(2-\mathcal{D})$   $-4-\mathcal{D}$   $-3-(2-\mathcal{D})$   $-3-(2-\mathcal{D})$ 

TLC:Rf 0.62 (ベンゼン:酢酸エチル=5:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.09 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.83 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.75 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.35 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 3.53 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.41 (m, 2H), 2.28-2.06 (m, 4H), 2.15 (s, 3H), 2.01-1.58 (m, 6H), 1.05 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.02 (t, J = 7.8Hz, 3H) $_{\circ}$ 

### 15 実施例2(32)

8-  $(3-\mathcal{C} \cup \mathcal{F} \cup$ 

TLC:Rf 0.59 (ベンゼン:酢酸エチル=5:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.27 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.80 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.67 (m, 2H), 2.17 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.81-1.52 (m, 4H), 1.16 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.04 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.01 (t, J = 7.8Hz, 3H),

# 実施例2 (33)

10 8-(3-ペンチルアミノ) -2-イソプロピル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.28 (m, 1H), 7.09 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 3.99 (m, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.49 (m, 2H), 3.12 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.99 (m, 1H), 2.28 (m, 2H), 2.20 (s, 3H), 1.85 (m, 2H), 1.74 (m, 2H), 1.24 (d, J = 6.9Hz, 3H), 1.19 (d, J = 7.2Hz, 3H), 1.08 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.06 (t, J = 7.5Hz, 3H),

#### 実施例2(34)

5

 $8-(2-x \\function x) -2-x \\$ 

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.46 (m, 1H), 7.11 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.74 (t, J = 6.0Hz, 2H), 3.49 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.21 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.26 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.68 (m, 1H), 1.53 (m, 4H), 1.00 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

# <u>実施例2(35)</u>

8-(3-ペンチルアミノ)-2-メチルチオメチル-3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン・塩酸塩

5 TLC: Rf 0.31 (nーへキサン: 酢酸エチル=3:1);
NMR(300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.31 (brd, J=10.8Hz, 1H), 7.16 (d, J=8.4Hz, 1H),
6.89 (d, J=2.4Hz, 1H), 6.80 (dd, J=8.4, 2.4Hz, 1H), 4.00 (brs, 1H), 3.83 (s, 3H),
3.70 (d, J=13.5Hz, 1H), 3.60 (d, J=13.5Hz, 1H), 3.50 (m, 2H), 3.14 (t, J=7.2Hz,
2H), 2.29 (m, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.04 (s, 3H), 1.95-1.65 (m, 4H), 1.07 (t, J=7.2Hz,
3H), 1.05 (t, J=7.5Hz, 3H)。

#### 実施例2 (36)\_

8- (N-メチル-N-シクロプロピルアミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -5, 7-ジヒドローフロ <math>[3, 4-d]15 ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.14 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 5.47 (brs, 2H), 4.90 (brs, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.45 (s, 3H), 2.80 (m, 1H), 2.33 (s, 3H), 2.16 (s, 3H), 0.84 (d, J = 6.0Hz, 4H)<sub>o</sub>

### 実施例2 (37)

5

8-(3-ペンチルアミノ)-2-メチル-3-(2,4-ジメチルフェニル)-6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] 10 ピリミジン

TLC:Rf 0.50 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.13 (d, J = 7.5Hz, 1H), 7.11 (br s, 1H), 7.03 (m, 1H), 6.21 (d, J = 10.8Hz, 1H), 3.80 (m, 1H), 3.08 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.5Hz,

2H), 2.34 (s, 3H), 2.31 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.56-1.82 (m, 4H), 1.02 (m, 6H)<sub>o</sub>

### <u>実施例2</u>(38)

5 8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2, 5-ジメチルフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.31 (br d, J = 10.2Hz, 1H), 7.24 (d, J = 7.5Hz, 1H), 7.15 (br dd, J = 1.2, 7.5Hz, 1H), 7.01 (br s, 1H),3.99 (m, 1H), 3.49 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.14 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.35 (s, 3H), 2.32 (s, 3H), 2.29 (m, 2H), 2.18 (s, 3H), 1.64-1.94 (m, 4H), 1.07 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.06 (t, J = 7.2Hz, 3H).

# 15 実施例2 (39)

8-シクロブチルアミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.14 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1H), 6.50 (brd, J = 8.4Hz, 1H), 4.46 (m, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.12 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.43 (m, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.23-2.08 (m, 4H), 2.16 (s, 3H), 1.90-1.70 (m, 2H)<sub>o</sub>

# 実施例2 (40)

TLC:Rf 0.38 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.12 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.82

(dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1H), 4.74 (m, 1H), 3.99 (m, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.48 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.98 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.20-2.10 (m, 6H), 2.30 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 1.90-1.70 (m, 2H), 1.16 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(41)

8- (プロパン-1, 3-iジオール-2-イル) アミノ-2-メチル-3- (2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-iビドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10 TLC: Rf 0.44 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.17 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.73 (d, J = 10.2Hz, 1H), 4.12 (m, 1H), 3.98-3.83 (m, 4H), 3.82 (s, 3H), 3.05 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.87 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.16 (s, 3H), 2.11 (m, 2H)<sub>o</sub>

15

### <u>実施例2 (42)</u>

8-(3-ペンチルアミノ) -2-(2-フリル) -3-(2-メチルー4 -メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ<math>-5H-シクロペンタ [d] ピラ ゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.47 (m, 1H), 7.21 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.38-6.30 (m, 2H), 6.05 (m, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.82 (m, 1H), 3.11 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.15 (m, 2H), 2.10 (s, 3H), 1.70 (m, 4H), 1.04 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.01 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

# 実施例2(43)

5

8 - (3-ペンチルアミノ) - 2-フェニル-3-(2-メチル-4-メト10 キシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.41 (n-ヘキサン:酢酸エチル=4:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.59-7.54 (m, 2H), 7.45-7.19 (m, 5H), 6.88-6.82 (m, 2H), 4.04 (m, 1H), 3.85 (s, 3H), 3.55 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.17 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.32 (m, 2H), 2.05 (s, 3H), 1.97-1.55 (m, 4H), 1.10 (t, J = 6.9Hz, 3H), 1.07 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

5

# 実施例2 (44)

8-  $(2-\Im x + 2\pi x)$  アミノー $(2-x + 2\pi x)$  アミノー $(2-x + 2\pi x)$   $(2-x + 2\pi x)$  (2-x

10

15

20

TLC:Rf 0.30(塩化メチレン:メタノール=19:1):

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 6.71 (t, J = 5.7Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.75 (dt, J = 5.7, 6.3Hz, 2H), 3.19 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.63 (t, J = 6.3Hz, 2H), 2.33 (s, 6H), 2.31 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 2.12 (m, 2H)<sub>o</sub>

### 実施例2(45)

8 - (N-メチル-N-(2-ジメチルアミノエチル) アミノ) - 2-メチ ル - 3 - (2-メチル-4-メトキシフェニル) - 6 , 7-ジヒドロ-5H - 2 -

TLC:Rf 0.46(塩化メチレン:メタノール=9:1):

NMR (300MHz, pyridine-d<sub>5</sub> 0.5ml + CDCl<sub>3</sub> 0.1ml): δ 7.42 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.04 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.96 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.21 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.85 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.75 (s, 3H), 3.14 (s, 3H), 3.00 (s, 6H), 2.90 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.80 (t, J = 7.5 Hz, 2H), 2.41 (s, 3H), 2.36 (s, 3H), 1.90 (m, 2H)<sub>o</sub>

### 実施例2(46)

TLC:Rf 0.46(塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78

(dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.80 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.64 (q, J = 7.2Hz, 2H), 2.99 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.90 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.56 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.25 (s, 6H), 2.17 (s, 3H), 2.12 (m, 2H), 1.17 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(47)

8 -  $(4- ^{n} - ^{n}$ 

TLC: Rf 0.50 (nーヘキサン: 酢酸エチル=3:1);
NMR(300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.27 (brd, J = 9.6Hz, 1H), 7.11 (d, J = 8.4Hz, 1H),
6.88 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.12 (m, 1H), 3.82 (s, 3H),
3.49 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.11 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.32-2.20 (m, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 1.82-1.60 (m, 4H), 1.60-1.36 (m, 4H), 0.99 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.98 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

# 実施例2 (48)

8-(2-)ブチルアミノ) -2-メチル-3-(2-)メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,

# 5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.36 (brd, J = 9.9Hz, 1H), 7.12 and 7.11 (d, J = 8.4Hz, two comformers, 1H), 6.88 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.18 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.48 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.16 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.40-2.20 (m, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.19 and 2.18 (s, two comformers, 3H), 1.80 (m, 2H), 1.48 and 1.47 (d, J = 6.6Hz, two comformers, 3H), 1.09 and 1.08 (t, J = 7.2Hz, two comformers, 3H)<sub>o</sub>

# 10 実施例2(49)

8 - (N-プロピル-N-シクロプロピルメチルアミノ) - 2-メチル-3 - (2-メチル-4-メトキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.42 (n- + + ): 酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.13 (m, 1H), 6.88 (br s, 1H), 6.82 (m, 1H), 3.88 (m, 2H), 3.83 (br s, 3H), 3.77 (br s, 2H), 3.37 (m, 2H), 3.06 (m, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.24 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.73 (m, 2H), 1.12 (m, 1H), 0.96 (m, 3H), 0.62 (m, 2H), 0.26 (br s, 2H)<sub>o</sub>

### 実施例2 (50)

5

8-(3-ペンチルアミノ)-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピ 10 リミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>):  $\delta$  9.25 (m, 1H), 8.31 (s, 1H), 7.23 (d, J=8.1Hz, 1H), 6.95 (d, J=2.4Hz, 1H), 6.86 (dd, J=2.4, 8.1Hz, 1H), 3.99 (m, 1H), 3.78 (s, 3H), 3.15 (m, 2H), 3.02 (t, J=7.8Hz, 2H), 2.20 (s, 3H), 2.18 (m, 2H), 1.60-1.88 (m, 4H), 0.89 (t, J=7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

### <u>実施例2(51)</u>

8-[(2R)-1-メトキシブタン-2-イル] アミノー2-メチルー3

-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.21 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

5 NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.63 (brd, J = 8.4Hz, 1H), 7.09 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1H), 4.19 (m, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.65-3.53 (m, 2H), 3.45 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.43 and 3.41 (s, two comformers, 3H), 3.26-3.01 (m, 2H), 2.30-2.20 (m, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 1.96-1.58 (m, 2H), 1.08 and 1.07 (t, J = 7.5Hz, two comformers, 3H)<sub>o</sub>

10

### 実施例2 (52)

8- [(2S) -1-メトキシブタン-2-イル] アミノ-2-メチル-3- (2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.21(n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.59 (brd, J = 10.2Hz, 1H), 7.11 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.88 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.19 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.66-3.53 (m, 2H), 3.48 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.44 and 3.42 (s, two comformers, 3H), 3.26-3.02 (m, 2H), 2.30-2.20 (m, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 1.98-1.69 (m, 2H), 1.09 and 1.08 (t, J = 7.5Hz, two comformers, 3H)<sub>o</sub>

### 実施例2(53)

10 8-シクロペンチルアミノー 2-メチルー 3- (2-メチルー 4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロー 5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.84 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1H), 6.34 (brd, J = 9.0Hz, 1H), 4.38 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.15 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 2.18-2.00 (m, 4H), 1.95-1.65 (m, 6H)<sub>o</sub>

# <u>実施例2</u>(54)

5

8-(3-ペンチルアミノ)-2-メチル-3-(2,4-ジフルオロフェニル)-6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-10 a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.50 (ddd, J = 6.6, 8.4, 8.4Hz, 1H), 6.86-6.99 (m, 2H), 6.23 (d, J = 10.8Hz, 1H), 3.80 (m, 1H), 3.09 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.92 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.39 (d, J = 1.5Hz, 3H), 2.15 (m, 2H), 1.53-1.81 (m, 4H), 1.01 (t, J = 7.2Hz, 6H) $_{\circ}$ 

### 実施例2 (55)

15

20

8-(3-ペンチルアミノ) -2-トリフルオロメチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.33 (br d, J = 10.2Hz, 1H), 7.13 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 2.4, 8.7Hz, 1H), 4.04 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.56 (m, 2H), 3.20 (m, 2H), 2.33 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1. 70-2.22 (m, 4H), 1.08 (m, 6H)<sub>o</sub>

### 実施例2 (56)

8-(N-エチル-N-(2-メトキシエチル)アミノ)-2-メチル-3
 10 -(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ[d]ピラゾロ[1,5-a]ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.20 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.11 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.82

(dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.34-4.17 (m, 2H), 3.91 (q, J = 7.2Hz, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.68 (t, J = 5.1Hz, 2H), 3.47 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.32 (s, 3H), 3.06 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.30-2.20 (m, 2H), 2.18 (s, 3H), 1.38 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(57)

8-シクロヘキシルアミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロー5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10 TLC: Rf 0.30 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.84 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.77 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.34 (brd, J = 9.6Hz, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.80 (m, 1H), 3.10 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 2.18-2.00 (m, 4H), 1.90-1.80 (m, 2H), 1.75-1.60 (m, 1H), 1.50-1.20 (m, 5H)<sub>o</sub>

15

#### 実施例2 (58)

8-(N-プロピル-N-(3-ペンチル) アミノ) -2-メチル-3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.14 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 4.20 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.60 (m, 2H), 3.38 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.97 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.30-2.15 (m, 2H), 2.27 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 2.00-1.70 (m, 4H), 1.42 (m, 2H), 0.98 (t, J = 7.5Hz, 6H), 0.90 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>0</sub>

### 実施例2(59)

8-(3-ペンチルアミノ)-2-メチル-3-(4-メトキシフェニル) 10 -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.57 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.60 (d, J = 9.0Hz, 2H), 6.99 (d, J = 9.0Hz, 2H), 6.10 (br d, J = 10.5Hz, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.94 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.53 (s, 3H), 2.15 (m, 2H), 1.53-1.82 (m, 4H), 1.00 (t, J = 7.2Hz, 6H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(60)

 $8-(3-\mathcal{C})$   $-2-\mathcal{C}$   $-2-\mathcal{C}$   $-3-(4-\mathcal{C})$   $-3-(4-\mathcal{C})$   $-2-\mathcal{C}$   $-2-\mathcal{C}$  -2

10 TLC: Rf 0.54 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H), 6.97 (d, J = 8.7Hz, 2H), 6.29 (br d, J = 10.5Hz, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.80 (m, 1H), 3.32 (sept, J = 6.9Hz, 1H), 3.07 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.13 (m, 2H), 1.63-1.83 (m, 4H), 1.33 (d, J = 6.9Hz, 6H), 1.01 (t, J = 7.5 HZ, 6H)<sub>o</sub>

15

### 実施例2 (61)

8-t- ブチルアミノー 2- メチルー 3- (2- メチルー 4- メトキシフェニル) -6 , 7- ジヒドロー 5 H- シクロペンタ [d] ピラゾロ [1 , 5- a] ピリミジン

TLC:Rf 0.35 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (brd, J = 8.7Hz, 1H), 6.97 (brs, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 8.7, 2.7Hz, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.15 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.11 (m, 2H), 1.57 (s, 9H)<sub>o</sub>

# 実施例2 (62)

8- (3-ペンチルアミノ) -3- (2, 4, 6-トリメチルフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリ 10 ミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.91 (s, 1H), 7.39 (brd, J = 10.2Hz, 1H), 6.99 (s, 2H), 4.03 (m, 1H), 3.52 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.17 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.31 (m,

2H), 2.13 (s, 6H), 1.67-1.96 (m, 4H), 1.07 (t, J = 7.5Hz, 6H).

# 実施例2(63)

8-(1-シクロブチルエチル)アミノー2-メチルー3-(2-メチルー5 4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロー5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ「1,5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, pyridine-d<sub>5</sub> 0.5ml + CDCl<sub>3</sub> 0.1ml) : δ 7.46 (d, J = 8.1Hz, 1H), 7.06 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.97 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.80 (d, J = 10.2Hz, 1H), 3.96 (m, 1H), 3.74 (s, 3H), 2.97 (ddd, J = 14.1, 7.2, 7.2Hz, 2H), 2.86 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.50-2.36 (m, 1H), 2.47 (s, 3H), 2.39 (s, 3H), 2.05-1.65 (m, 8H), 1.15 (d, J = 6.3Hz, 3H)<sub>o</sub>

#### 15 実施例2(64)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2, 3-ジメチル-4- メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.37 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.08 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.78 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.21 (d, J = 10.8Hz, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 3.08 (t, J = 6.6Hz, 2H), 2.88 (t, J = 8.1Hz, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.21 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 2.10 (s, 3H), 1.56-1.82 (m, 4H), 1.03 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.01 (t, J = 6.9Hz, 3H)<sub>o</sub>

# <u>実施例2(65)</u>

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2,5-ジメチル-4-10 メトキシフェニル) -6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.43 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  6.99 (s, 1H), 6.76 (s, 1H), 6.20 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.82 (m, 1H), 3.08 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 2.14 (m, 2H), 1.54-1.80 (m, 4H), 1.01 (m, 6H)<sub>o</sub>

### 5 実施例2(66)

8-[N-(2,2,2-h)] フルオロエチル)-N-シクロプロピルメチル] アミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6、7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

10

15

20

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.17 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 4.64 (q, J = 9.6Hz, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.41 (d, J = 6.6Hz, 2H), 2.98 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.94 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.21-2.09 (m, 2H), 2.18 (s, 3H), 1.03 (m, 1H), 0.57 (m, 2H), 0.21 (m, 2H),

### 実施例2 (67)

8- (2, 2, 2-h) フルオロエチル)アミノー2-メチル-3- (2-メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.14 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 6.75 (brt, J = 7.8Hz, 1H), 4.22 (dq, J = 7.8, 7.8Hz, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.12 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.92 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.23-2.09 (m, 2H), 2.17 (s, 3H)<sub>0</sub>

### 実施例2 (68)

8- [(2R) -1-メトキシブタン-2-イル] アミノ-2-メチル-3
10 -(2-メチル-4-メトキシフェニル) -5, 7-ジヒドローフロ [3, 4-d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.25 (n-ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, pyridine-d<sub>5</sub> 0.5ml + CDCl<sub>3</sub> 0.1ml) :  $\delta$  7.39 (d, J = 8.1Hz, 1H),

7.37 (brd, J = 9.3Hz, 1H), 7.03 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.95 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 5.45 (d, J = 9.9Hz, 1H), 5.35 (d, J = 9.9Hz, 1H), 4.98 (brs, 2H), 3.74 (s, 3H), 3.63-3.48 (m, 3H), 3.26 (s, 3H), 2.41 (s, 3H), 2.34 (s, 3H), 1.82-1.60 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

5

## 実施例2 (69)

8- [(2R) -1-メトキシブタン-2-イル] アミノ-2-メチル-3 - (2-メチル-4-メトキシフェニル) -2, 3-ジヒドローフロ [3, 2-d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

10

15

NMR (300MHz, pyridine-d<sub>5</sub> 0.5ml + CDCl<sub>3</sub> 0.1ml):  $\delta$  7.40 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.03 (brs, 1H), 6.95 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 6.80 (brd, J = 9.3Hz, 1H), 4.47 (m, 1H), 4.47 (t, J = 8.4Hz, 2H), 3.74 (s, 3H), 3.56 (d, J = 4.8Hz, 2H), 3.28 (s, 3H), 3.12 (t, J = 8.4Hz, 2H), 2.43 (s, 3H), 2.35 (s, 3H), 1.87-1.46 (m, 2H), 1.00 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

実施例2 (70)

8-(3-ペンチルアミノ) -3-(2, 6-ジメチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-

## a]ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.33 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.90 (s, 1H), 7.39 (br d, J = 10.2Hz, 1H), 6.72 (s, 2H),

5 4.02 (m, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.53 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.17 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.32 (m, 2H), 2.14 (s, 6H), 1.66-1.96 (m, 4H), 1.08 (t, J = 7.2Hz, 6H)<sub>o</sub>

## <u>実施例2 (71)</u>

TLC:Rf 0.33 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.99 (s, 1H), 7.37 (br d, J = 10.8Hz, 1H), 6.75 (s, 1H), 6.70 (s, 1H), 4.01 (m, 1H), 3.85 (s, 3H), 3.57 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.16 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.31 (m, 2H), 2.23 (s, 3H), 1.63-1.92 (m, 4H), 1.06 (t, J = 7.2Hz, 6H)<sub>o</sub>

5

## 実施例2 (72)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2,6-ジメチル-4-4- メトキシフェニル) -6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

10

TLC:Rf 0.33 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  6.68 (s, 2H), 6.21 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.81 (m, 1H), 3.80 (s, 3H), 3.09 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.19 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 2.04 (s, 6H), 1.55-1.83 (m, 4H), 1.03 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>0</sub>

15

#### 実施例2(73)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(4,6-ジメチル-2-3-1) -6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.33 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  6.75 (m, 1H), 6.62 (s, 1H), 6.21 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.80 (m, 1H), 3.71 (s, 3H), 3.06 (m, 2H), 2.87 (m, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.24 (s, 3H), 2.12 (m, 2H), 2.09 (s, 3H), 1.53-1.80 (m, 4H), 1.03 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.00 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>0</sub>

## 実施例2 (74)

8-(3-メチルペンタン-3-イル) アミノ-2-メチル-3-(2-メ 5 チル-4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ[d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.36 (n-ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  8.01 (brs, 1 H), 7.12 (d, J = 8.1Hz, 1 H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1 H), 6.82 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1 H), 3.83 (s, 3 H), 3.52 (t, J = 7.8Hz, 2 H), 3.16 (t, J = 7.2Hz, 2 H), 2.28 (s, 3 H), 2.24 (m, 2 H), 2.20 (s, 3 H), 2.00-1.85 (m, 4 H), 1.55 (s, 3 H), 1.03 (t, J = 7.5Hz, 6 H)<sub>0</sub>

5

#### 実施例2(75)

10

TLC:Rf 0.44 (ベンゼン:酢酸エチル=10:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  6.96 (s, 1H), 6.85 (s, 1H), 6.22 (br d, J = 10.5Hz, 1H), 5.99 (s, 2H), 3.80 (m, 1H), 3.08 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.16 (m,2H), 1.53-1.81 (m, 4H), 1.01 (t, J = 7.2Hz, 6H) $_{\circ}$ 

15

## 実施例2(76)

8 - (N-エチル-N-ベンジルアミノ) - 2 - メチル- 3 - (2 - メチル - 4 - メトキシフェニル) - 6, 7 - ジヒドロ - 5 H - シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.26-7.43 (m, 5H), 7.13 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 5.21 (s, 2H), 3.87 (q, J = 6.9Hz, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.47 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.03 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.22 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.39 (t, J = 6.9Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (77)

8 - (3-ペンチルアミノ) - 2-メチル-3-(2-クロロ-4-トリフ10 ルオロメトキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d]ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

NMR (300MHz, pyridene- $d_5$ (0.5ml) ,CDCl<sub>3</sub>(0.1ml)) :  $\delta$  7.71 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.57 (m, 1H), 7.28 (m, 1H), 6.77 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.74 (m, 1H), 2.95 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.85 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.46 (s, 3H), 1.98 (m, 2H), 1.64-1.48 (m, 4H), 0.92 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (78)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2-クロロー4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC: Rf 0.20 (n-ヘキサン: 酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, pyridene-d<sub>5</sub>(0.5ml) ,CDCl<sub>3</sub>(0.1ml)) :  $\delta$  7.59 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.24 (d, J = 2.4Hz,1H), 6.98 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 6.78 (d, J = 10.5Hz, 1H), 3.74 (m, 1H), 3.69 (s, 3H), 2.94 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.85 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.51 (s, 3H), 1.96 (m, 2 H), 1.64-1.48 (m, 4H), 0.91 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (79)

15

8- (N-ベンジル-N-(2-メトキシエチル)アミノ)-2-メチルー

3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.24 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

5 NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.34 - 7.44 (m, 3H), 7.27 - 7.34 (m, 2H), 7.13 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 5.11 (s, 2H), 4.14 (t, J = 4.8Hz, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.64 (t, J = 4.8Hz, 2H), 3.49 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.29 (s, 3H), 3.07 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.23 (m, 2H), 2.19 (s, 3H)<sub>0</sub>

# 10 実施例2(80)

TLC:Rf 0.30 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.15 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.85 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd, J = 2.7, 8.1Hz, CDCl<sub>3</sub>), 5.97 (m, 1H), 5.83 (m, 1H), 4.21 (m, 2H), 3.85 (m, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.07 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.5H z, 2H), 2.41 (m, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.16 (s, 3H), 2.11 (m, 2H)<sub>0</sub>

## 実施例2 (81)

5

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2-メトキシ-4,5-10 ジメチルフェニル) -6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.29 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.29 (brd, J = 10.2Hz, 1 H), 7.04 (s, 1 H), 6.83 (s, 1 H), 3.95 (m, 1 H), 3.90 (s, 3 H), 3.56 (t, J = 7.8Hz, 2 H), 3.12 (t, J = 7.5Hz, 2 H), 2.42 (s, 3 H), 2.31 (s, 3 H), 2.28 (m, 2 H), 2.24 (s, 3 H), 1.90 - 1.62 (m, 4 H), 1.04 (t, J = 7.5Hz, 6 H)<sub>o</sub>

5

## <u>実施例2(82)</u>

8 - (1, 2, 3, 4 - テトラヒドロイソキノリン -2 - イル) -2 - メチル -3 - (2 - メチル -4 - メトキシフェニル) -6, 7 - ジヒドロ -5 H - シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン

10

15

TLC:Rf 0.24 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.23 - 7.18 (m, 3 H), 7.16 (d, J = 8.4Hz, 1 H), 7.11 (m, 1 H), 6.86 (d, J = 2.4Hz, 1 H), 6.79 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1 H), 4.86 (s, 2 H), 4.09 (t, J = 5.7Hz, 2 H), 3.82 (s, 3 H), 3.08 (t, J = 5.7Hz, 2 H), 2.97 (t, J = 7.2Hz, 2 H), 2.89 (t, J = 7.8Hz, 2 H), 2.33 (s, 3 H), 2.17 (s, 3 H), 2.08 (m, 2 H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(83)

8-フェニルアミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニ

ル) -6, 7 -ジヒドロ-5 H -シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.35 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

5 NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  8.01 (br, 1H), 7.45 - 7.38 (m, 2H), 7.33 - 7.17 (m, 4H), 6.87 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.1, 2.4Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.89 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.35 (s, 3H), 2.30 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.21 (s, 3H), 2.02 - 1.90 (m, 2H)<sub>o</sub>

## 実施例2(84)

10 8-(2-メチルフェニル) アミノー2-メチルー3-(2-メチルー4- メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-<math>5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.37 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.76 (br, 1H), 7.32 - 7.17 (m, 5H), 6.87 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.85 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.36 (s, 6H), 2.22 (s, 3H), 2.13 (t, J = 7.5Hz, 2H), 1.96 - 1.85 (m, 2H)<sub>o</sub>

5

#### 実施例2 (85)

8-(3-メチルフェニル)アミノー2-メチルー3-(2-メチルー4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10

15

TLC:Rf 0.38 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1):

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.96 (br, 1H), 7.32 - 7.26 (m, 1H), 7.19 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.12 - 7.01 (m, 3H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.35 (s, 3H), 2.31 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.21 (s, 3H), 2.02 - 1.91 (m, 2H)<sub>o</sub>

## <u>実施例2(86)</u>

8- (4-メチルフェニル) アミノ-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラブ

ロ[1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.33 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.93 (br, 1H), 7.23 - 7.11 (m, 5H), 6.87 (d, J = 2.7Hz,

5 1H), 6.80 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.86 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.35 (s, 3H), 2.29 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.21 (s, 3H), 2.00 - 1.88 (m, 2H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (87)

8 - (N-フェニル-N-プロピルアミノ) - 2-メチル-3-(2-メチ10 ルー4ーメトキシフェニル) - 6, 7ージヒドロー 5 Hーシクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン

TLC:Rf 0.48 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.31 - 7.24 (m, 2H), 7.21 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.99 - 6.87 (m, 4H), 6.81 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.15 - 4.07 (m, 2H), 3.84 (s, 3H), 2.92 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.31 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.22 (s, 3H), 2.05 - 1.94 (m, 2H), 1.82 - 1.68 (m, 2H), 0.96 (t, J = 7.2Hz, 3H) $_{\circ}$ 

5

#### 実施例2(88)

8 - (N-ベンジル-N-プロピルアミノ) - 2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

10

15

TLC:Rf 0.63 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.33 - 7.21 (m, 5H), 7.19 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 4.86 (s, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.42 - 3.34 (m, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.81 (t, J = 7.1Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 2.11 - 1.98 (m, 2H), 1.67 - 1.54 (m, 2H), 0.88 (t, J = 7.5Hz, 3H) $_{\circ}$ 

## 実施例2 (89)

8- (N, N-ジアリルアミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メ

トキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, <math>5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

5 NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.11 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.89 (d, J =2.7Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 6.03 (m, 2H), 5.40 (d, J = 10.5Hz, 2H), 5.35 (d, J = 18Hz, 2H), 4.49 (d, J = 6.0Hz, 4H), 3.83 (s, 3H), 3,47 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.08 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.23 (m, 2H), 2.18 (s, 3H)<sub>o</sub>

## 10 実施例2(90)

8- (3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3- (2-メチル-4-ジメチルアミノフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.17 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.11 (d, J = 8.1Hz, 1 H), 6.70 (d, J = 2.7Hz, 1 H), 6.64 (dd, J = 8.1, 2.7Hz, 1 H), 6.19 (d, J = 10.2Hz, 1 H), 3.80 (m, 1 H), 3.08 (t, J = 7.5Hz, 2 H), 2.95 (s, 6 H), 2.89 (t, J = 7.5Hz, 2 H), 2.32 (s, 3 H), 2.18 (s, 3 H), 2.18 - 2.08 (m, 2 H), 1.80 - 1.56 (m, 4 H), 1.01 (brs, 6 H)<sub>0</sub>

## 実施例2 (91)

5

8- (1-フェニルプロピルアミノ) - 2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラ 10 ゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.45 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.83 (d, J = 8.7Hz, 1H), 7.27 - 7.48 (m, 5H), 7.12 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.88 (m, 1H), 6.81 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 5.10 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.41 (m, 2H), 3.16 (m, 1H), 2.83 (m, 1H), 2.32 (s, 3H), 2.20 and 2.19 (s, total 3H), 2.12 (m, 4H), 1.12 and 1.01 (t, J = 7.2Hz, total 3H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(92)

8 - (N - (2 - フェニルエチル) - N - プロピルアミノ) - 2 - メチルー 3 - (2 - メチルー4 - メトキシフェニル) - 6, 7 - ジヒドロー5 H - シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン・塩酸塩

5 TLC:Rf 0.35 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.23 - 7.05 (m, 6H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 8.4, 2.4Hz, 1H), 4.33 (t, J = 6.6Hz, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.71 (t, J = 6.9Hz, 2H), 3.37 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.98 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.77 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 2.20 - 2.06 (m, 2H), 1.81 - 1.68 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

10

### 実施例2 (93)

TLC:Rf 0.40 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.26 - 7.05 (m, 6H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 8.4, 2.7Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.66 - 3.53 (m, 4H), 2.88 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.87 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.62 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.15 - 2.04 (m, 2H), 1.95 - 1.83 (m, 2H), 1.61 - 1.49 (m, 2H), 0.88 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (94)

8 -  $(N-(4-7x=)\nu)$  - N-7ロピルアミノ) - 2-メチルー 10 3 - (2-メチルー4 -  $\lambda$  トキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロー5 H - シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.48 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.25 - 7.05 (m, 6H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.78 (dd,

J = 8.1, 2.7Hz, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.63 (t, J = 6.6Hz, 2H), 3.57 - 3.49 (m, 2H), 2.90 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.57 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.15 - 2.05 (m, 2H), 1.66 - 1.49 (m, 6H), 0.88 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 5 実施例2(95)

8-(1-7) (2-メチル) アミノー 2-メチルー 3-(2-) (2-メチル -4- メトキシフェニル) -6 , 7- ジヒドロー 5 H- シクロペンタ [d] ピラゾロ [1 , 5-a] ピリミジン・塩酸塩

10 TLC:Rf 0.41 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>):  $\delta$  9.24 (m, 1H) 7.04 - 7.30 (m, 6H), 6.95 (br s, 1H), 6.86 (dd, J =2.7, 8.4Hz, 1H), 4.20 (br s, 1H), 3.78 (s, 3H), 2.87 - 3.17 (m, 3H), 2.64 - 2.87 (m, 3H), 2.26 (s, 3H), 1.82 - 2.18 (m, 5H), 1.63 - 1.82 (m, 2 H), 0.93 (br t, J = 6.9Hz, 3H),

15

実施例2 (96)

8 - (1-フェニル-3-ペンチル) アミノー2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) - 6, 7-ジヒドロ-<math>5 H-シクロペンタ [d]

ピラゾロ「1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>):  $\delta$  8.53 (m, 1H), 7.09 - 7.28 (m, 6H), 6.96 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.85 (dd, J = 3.0, 8.4Hz, 1H), 4.10 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 2.89 - 3.02 (m, 3H), 2.68 - 2.85 (m, 3H), 2.25 (s, 3H), 2.00 - 2.22 (m, 7H), 1.79 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (97)

10 8 - (N- (4-メチルフェニル)-N-プロピルアミノ)-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ<math>-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.27 (d, J=8.1Hz, 2H), 7.13 - 7.22 (m, 3H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.84 (dd, J = 2.4, 8.7Hz, 1H), 4.46 (m, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.35 (m, 2H),

5 2.43 (s, 3H), 2.31 (s, 3H), 2.22 (s, 3H), 1.77 - 1.97 (m, 6H), 0.98 (t, J = 7.5Hz, 3H).

## 実施例2 (98)

8- (N-(4-メチルフェニル) メチル-N-プロピルアミノ)-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-510 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.45 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.11 - 7.21 (m, 5H), 6.90 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.7, 8.7Hz, 1H), 5.13 (s, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.72 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.48 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.01 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.29 (s, 3H), 2.22 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.77 (m, 2H), 0.94 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(99)

5

TLC:Rf 0.41 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.36 (m, 1H), 7.06 - 7.24 (m, 4H), 6.91 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.84 (dd, J = 2.4, 8.1Hz, 1H), 4.46 (m, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.36 (m, 2H), 2.42 (s, 3H), 2.32 (s, 3H), 2.23 (s, 3H), 1.77 - 2.00 (m, 6H), 0.99 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(100)

15

8-(N-(4-)++)フェニル) メチル-N-プロピルアミノ) -2- メチル-3-(2-)メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロー

5 H ー シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.26 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.18 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.13 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.90(d, J = 8.7Hz, 2H), 6.90 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 3.0, 8.4Hz, 1H), 5.10 (s, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.82 (s, 3H), 3.70 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.49 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.01 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.22 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.75 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 10 実施例2(101)

TLC:Rf 0.26 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.37 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.12 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 5.15 (s, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.68 (m, 2H), 3.50 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.02 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.25 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.74 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(102)

8- (N-(2-メチルフェニル)-N-プロピルアミノ)-2-メチルー10 3- (2-メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.27 - 7.45 (m, 4H), 7.16 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.84 (dd, J = 2.4, 8.4Hz, 1H), 4.53 (m, 1H), 4.37 (m, 1H), 3.84 (s, 3H), 3.34 (m, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.23 (s, 3H), 2.10 (s, 3H), 1.50 - 2.07 (m, 6H), 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(103)

5

8- ((3S) -3-メトキシメチル-1, 2, 3, 4ーテトラヒドロイソキノリン-2-イル) -2-メチル-3- (2-メチル-4-メトキシフェ 10 ニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.56 (ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.30 - 7.05 (m, 5H), 6.90 - 6.75 (m, 2H), 5.48 (m, 1H) 5.03 (d, J = 15.6Hz, 1H), 4.72 (dd, J = 15.6, 3.9Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.33 and 3.32 (s, 3H), 3.87 - 3.05 (m, 7H), 2.82 (d, J = 15.6Hz, 1H), 2.40 - 2.10 (m, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.25 and 2.11 (s, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(104)

8-(3-ペンチルアミノ) -2-メチル-3-(2-ジメチルアミノ-4 -メチルピリジン-5-イル)-6,7-ジヒドロ-<math>5H-シクロペンタ[d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン・2 塩酸塩

5

TLC: Rf 0.42 (クロロホルム: メタノール= 20:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  8.01 (s, 1H), 7.32 (d, J = 10.2Hz, 1H), 6.85 (s, 1H), 4.00 (m, 1H), 3.41 (s, 6H), 3.40 (m, 2H), 3.17 (m, 2H), 2.37 (s, 3H), 2.33 (m, 2H), 2.32 (s, 3H), 1.65 - 1.95 (m, 4H), 1.07 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.06 (t, J = 7.2Hz, 3H) $_{\circ}$ 

10

## 実施例2(105)

8- ((2S) -1-メトキシ-3-フェニル-2-プロピル) アミノ-2 -メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ -5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.26 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.77 (m, 1H), 7.25 - 7.36 (m, 3H), 7.16 - 7.23 (m, 2H), 7.11 (m, 1H), 6.88 (m, 1H), 6.80 (m, 1H), 4.44 (m, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.53 - 3.68 (m, 2H), 3.47 and 3.46 (s, 3H), 3.38 (m, 2H), 3.11 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.08 (m, 1H), 2.81 (m, 1H), 2.31 (s, 3H), 2.20 and 2.17 (s, 3H), 2.15 (m, 2H)<sub>o</sub>

## 実施例2(106)

8- (N-(4-)メチルチオフェニル)メチル-N-プロピルアミノ)-2
10 -メチル-3- (2-)メチル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロー5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.50 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.25 (d, J = 8.4Hz, 2H), 7.18 (d, J = 8.4Hz, 2H), 7.13 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.90 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.4, 8.1Hz, 1H), 5.13 (s, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.70 (m, 2H), 3.50 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.01 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.50 (s, 3H), 2.29 (s, 3H), 2.23 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.75 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.5Hz, 3H).

## 実施例2(107)

5

8- (4-7x=)ピペラジン-1-イル)-2-メチル-3-(2-メチ )10 )ル-4-メトキシフェニル)-6, 7-ジヒドロ-5 )H-シクロペンタ [d]ピラゾロ [1, 5-a]ピリミジン・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.30 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, DMSO-d<sub>6</sub>):  $\delta$  7.30 - 7.38 (m, 2H), 7.21 - 7.29 (m, 2H), 7.12 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.00 (brd, J = 6.9Hz, 1H), 6.95 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.86 (dd, J = 2.7, 8.4Hz, 1H), 4.22 (br s, 4H), 3.79 (s, 3H), 3.53 (brs, 4H), 3.14 (m, 2H), 2.97 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.21 (s, 3H), 2.15 (m, 2H), 2.06 (s, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(108)

TLC:Rf 0.38 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.41 (dd, J = 1.5, 7.8Hz, 1H), 7.28 (m, 1H), 7.16 (d, J = 8.1Hz, 1H), 7.15 (d, J = 8.7Hz, 1H), 7.03 (m, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.7, 8.1Hz, 1H), 3.90 (m, 4H), 3.82 (s, 3H), 3.33 (t, J = 4.8H, 4H), 3.16 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.33 (s, 3H), 2.17 (s, 3H), 2.14 (m, 2H).

## 実施例2(109)

TLC:Rf 0.57 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.12 (d, J = 7.8Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 2.4, 7.8Hz, 1H), 3.90 (t, J = 7.5Hz, 4H), 3.83 (s, 3H), 3.48 (m, 2H), 3.02 (m, 2H), 2.27 (s, 3H), 2.25 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.71 (m, 4H), 1.38 (m, 4H), 0.97 (t, J = 6.9Hz, 6H)<sub>9</sub>

### 実施例2(110)

5

8-(N-メチル-N-ブチルアミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピ ラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.36 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.10 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.88 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 3.0, 8.1Hz, 1H), 3.97 (m, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.51 (s, 3H), 3.45 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.12 (t, J= 6.9Hz, 2H), 2.26 (s, 3H), 2.23 (m, 2 H), 2.18 (s, 3H), 1.85 (m, 2H), 1.40 (m, 2H), 0.99 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

# <u>実施例2(111)</u>

8 - (N-(4-メチルフェニル) メチル-N-ブチルアミノ) - 2-メチ 20  $\nu-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)$  - 6, 7-ジヒドロ-5H

ーシクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.53 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.10 - 7.21 (m, 5H), 6.89 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.83 (dd, J = 2.4, 8.1Hz, 1H), 5.13 (s, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.77 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.48 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.01 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.29 (s, 3H), 2.21 (m, 2H), 2.19 (s, 3H), 1.73 (m, 2H), 1.34 (m, 2H), 0.93 (t, J= 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(112)

10 8-(N-(4-メチルフェニル)メチル-N-(2-メトキシエチル)アミノ)-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒドロ-5H-シクロペンタ[d]ピラゾロ[1,5-a]ピリミジン・塩酸塩

TLC: Rf 0.23 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.25 - 7.05 (m, 5H), 6.98 - 6.78 (m, 2H), 5.06 (s, 2H), 4.22 - 4.03 (m, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.75 - 3.58 (m, 2H), 3.58 - 3.38 (m, 2H), 3.30 (s, 3H), 3.20 - 2.90 (m, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.30 (s, 3H), 2.21 (m, 2H), 2.19 (s, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例2(113)

5

8 -  $(N-\nu)$ クロプロピル $-N-(4-\lambda)$ チルフェニル)メチルアミノ) -  $2-\lambda$ チル $-3-(2-\lambda)$ チル $-4-\lambda$ トキシフェニル) -6,  $7-\tilde{\nu}$ ヒド 10 ロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC: Rf 0.35 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.25 - 6.95 (m, 5H), 6.95 - 6.73 (m, 2H), 5.40 - 5.15 (m, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.65 - 3.30 (m, 2H), 3.30 - 2.95 (m, 2H), 2.35 (s, 3H), 2.31 (s, 3H), 2.30 - 2.10 (m, 3H), 2.19 (s, 3H), 1.10 - 0.80 (m, 4H)<sub>o</sub>

## 実施例2(114)

5

 $8-(N-\nu)$ クロプロピルメチル $-N-(4-\lambda)$ チルフェニル)メチルアミノ) $-2-\lambda$ チル $-3-(2-\lambda)$ チル $-4-\lambda$ トキシフェニル)-6, 7-10 ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.37 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.30 - 7.00 (m, 5H), 7.00 - 6.75 (m, 2H), 5.24 (s, 2H), 3.84 (s, 3H), 3.80 - 3.60 (m, 2H), 3.60 - 3.35 (m, 2H), 3.20 - 2.90 (m, 2H), 2.34 (s, 3H), 2.29 (s, 3H), 2.22 (s, 2H), 2.11 (s, 3H), 1.38 - 1.05 (m, 1H), 0.75 - 0.50 (m, 2H), 0.35 - 0.10 (m, 2H)<sub>0</sub>

## 実施例2(115)

8 - (N, Nージプロピルアミノ) -2 - メチルー3 - (2 - メチルー4 - 10 メトキシフェニル) -6, 7 - ジヒドロー5 H - シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5 - a] ピリミジン

TLC:Rf 0.59 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.17 (d, J = 8.4Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.4, 8.4Hz, 1H), 3.82 (s, 3H), 3.56 (m, 4H), 2.95 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.90 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.33 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.58 (m, 4H), 0.89 (t, J = 7.5Hz, 6H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(116)

5

15

8-(N-(4-メチルフェニル) メチルーN-(2-ブチニル) アミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル)-6,7-ジヒ 10 ドロー<math>5 H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン・塩酸 塩

TLC:Rf 0.47 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.33 (d, J= 8.1Hz, 2H), 7.19 (d, J = 8.1Hz, 2H), 7.11 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.89 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.82 (dd, J = 2.7, 8.7Hz, 1H), 5.27 (d, J = 15.0Hz, 1H), 5.24 (d, J = 15.0Hz, 1H), 4.41 (m, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.51 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.22 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.37 (s, 3H), 2.28 (s, 3H), 2.25 (m, 2H), 2.17 (s, 3H), 1.91 (t, J = 2.4Hz, 3H)<sub>o</sub>

# 実施例2(117)

8-(N-プロピル-N-(2-ブチニル) アミノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7-ジヒドロ-5H-シクロペン
 5 タ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.55 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.16 (d, J = 8.1Hz, 1H), 6.86 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.7, 8.1Hz, 1H), 4.40 (m, 2H), 3.82 (s, 3H), 3.55 (m, 2H), 3.11 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.91 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.32 (s, 3H), 2.18 (s, 3H), 2.13 (m, 2H), 1.81 (t, J = 2.4Hz, 3H), 1.66 (m, 2H), 0.95 (t, J= 7.5Hz, 3H)<sub>o</sub>

#### 実施例2(118)

 $8-(5-J=\nu T = J)-2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシ$ 15 フェニル)-6, 7-ジヒドロー5 Hーシクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.58 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.33 (brd, J = 10.5Hz, 1H), 7.12 (d, J = 8.7Hz, 1H), 6.88 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.81 (dd, J = 2.7, 8.7Hz, 1H), 4.10 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 3.49 (t, J = 8.1Hz, 2H), 3.12 (t, J = 6.6Hz, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.27 (m, 2H), 2.20 (s, 3H), 1.61 - 1.88 (m, 4H), 1.30 - 1.53 (m, 8H), 0.94 (m, 6H)<sub>0</sub>

## 実施例2 (119)

 $8-(N-\nu)$ クロペンチル $-N-(4-\lambda)$ チルフェニル)メチルアミノ)-10 2-メチル $-3-(2-\lambda)$ チルー $4-\lambda$ トキシフェニル)-6,  $7-\tilde{\nu}$ ヒドロ-5H-シクロペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン・塩酸塩

TLC:Rf 0.38 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CD<sub>3</sub>OD):  $\delta$  7.20 - 6.98 (m, 5H), 6.93 (d, J = 2.4Hz, 1H) 6.85 (dd, J = 8.6, 2.4Hz, 1H), 5.20 (d, J = 16.5Hz, 1H), 5.09 (d, J = 16.5Hz, 1H), 5.02 - 4.70 (m, 1H), 3.81 (s, 3H), 3.17 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.98 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.29 (s, 3H), 2.22 (s, 3H), 1.98 (s, 3H), 2.40 - 1.60 (m, 10H)<sub>o</sub>

## 実施例2(120)

5

 $8-(N-\nu)$ クロプロピルメチル $-N-(4-\lambda)$ チルチオフェニル)メチルアミノ) $-2-\lambda$ チル $-3-(2-\lambda)$ チル $-4-\lambda$ トキシフェニル)-6,  $7-\tilde{\nu}$ ヒドロ-5  $H-\nu$ クロペンタ [d] ピラゾロ [1,5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.85 (ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.28 - 7.16 (m, 5H), 6.87 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 3.0, 8.4Hz, 1H), 4.89 (s, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.38 (d, J = 6.9Hz, 2H), 2.96 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.89 (t, J = 7.2Hz, 2H), 2.47 (s, 3H), 2.36 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.09 (quint, J = 7.2Hz, 2H), 1.10 - 0.95 (m, 1H), 0.52 - 0.42 (m, 2H), 0.10 - 0.05 (m, 2H)<sub>o</sub>

## 実施例2 (121)

5

10

TLC:Rf 0.87 (ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.28 - 7.16 (m, 3H), 7.03 - 6.95 (m, 2H), 6.87 (d, J = 2.4Hz, 1H), 6.79 (dd, J = 2.4, 8.4Hz, 1H), 4.80 (s, 2H), 3.83 (s, 3H), 3.40 - 3.32 (m, 2H), 2.89 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.81 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2. 36 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 2.07 (quint, J = 7.5Hz, 2H), 1.62 - 1.50 (m, 2H), 0.88 (t, J = 7.2Hz, 3H)<sub>o</sub>

## 実施例<u>2(122)</u>

 $8-(N-\nu)$ クロブチル $-N-(4-\lambda)$ チルフェニル)メチルアミノ)-2- $-\lambda$ チル $-3-(2-\lambda)$ チル $-4-\lambda$ トキシフェニル)-6,  $7-\nu$ ビドロ -5 H $-\nu$ クロペンタ [d] ピラブロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC: Rf 0.48 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>): δ 7.19 (d, J = 8.4Hz, 1H), 7.02 (d, J = 7.5Hz, 2H), 6.89 (d, J = 7.5Hz, 2H), 6.87 (d, J = 3.0Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 8.4, 3.0Hz, 1H), 4.90 - 4.70 (m, 2H), 4.08 (m, 1H), 3.83 (s, 3H), 2.84 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.61 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.30 (s, 3H), 2.19 (s, 3H), 2.20 - 2.06 (m, 4H), 1.96 (m, 2H), 1.80 - 1.60 (m, 2H)<sub>o</sub>

## <u>実施例2(123)</u>

10 8 - (N-xチル-N- (4-xチル7xニル) メチル7ミノ) -2-xチル-3- (2-xチル-4-xトキシ7xニル) -6, 7-ジヒド-5H -シク-0ペンタ [d] ピラゾロ [1, 5-a] ピリミジン

TLC:Rf 0.69 (ヘキサン:酢酸エチル=1:1);

NMR (300MHz, CDCl<sub>3</sub>):  $\delta$  7.19 (d, J = 8.1Hz, 1H), 7.14 - 7.06 (m, 4H), 6.87 (d, J = 2.7Hz, 1H), 6.80 (dd, J = 2.7, 8.1Hz, 1H), 4.81 (s, 2H), 3.87 (s, 3H), 3.47 (q, J = 6.9Hz, 2H), 2.88 (t, J = 7.8Hz, 2H), 2.81 (brt, J = 7.8Hz, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.33 (s, 3H), 2.20 (s, 3H), 2.04 (quint, J = 7.8Hz, 2H), 1.18 (t, J = 6.9Hz, 3H).

## 実施例2(124)

 $8-(N-\Im \square \square \square N-(4-\log \square N)$  メチルアミ 10 ノ) -2-メチル-3-(2-メチル-4-メトキシフェニル) -6, 7- ジヒドロ-5 H-シクロペンタ [d]  $\square$  デブロ [1, 5-a]  $\square$  リミジン